

ヤ 9
1147



身保按摩品解

增補

日用食性大全

灸法寸法圖解



寬政二年

庚戌三月

浪華書林

大阪心齋橋筋北久太郎町共入

河内屋

喜兵衛

影卷書目林

喜共識

大列心體誠意此入於和氣矣

三月

實文二年

大列心體誠意此入於和氣矣

日用食性知辨大全序
 食性之在不在於六府也
 不可收出不可則其當熟當
 誤用更不可則其當熟當
 也明矣苟非賢者之是味
 為又藏六府也黑難壽

偶あやふ考く緒よ家け所と著あ食く物ぶ等と益ま
純あま用もち也や來き亦また每ま患あ此こ服く日ひ
其その亮あ季せ蓋け謂い此こ易あ曉あ而を不し
勞ら故ゆ能よ形か与と神か俱あ而を盡あ終あ
食く有あ節せ紀き居ま有あ常と不し妄あ作し
山さん萬ま歲ざい矣や益ま哉や故ゆ素そ問もん飲あ

棟とう好こう導どう引ひ灸し法は之の攝し要やう的てき
遜そん系けい教きやう私し周しゅう為ゐ三さん卷くわん名な曰い
保ほ者しや食く物ぶ大だい成じやう附ふ之の劑じ願げん
氏し公こう諸しよ世せ焉やん亦また食く用もち特とく一いつ
助すけ身み若ごと童どう蒙もう者しや不し無な小せう補ほ
小せう公こう

元禄十六 未年五春吉日

浪華

馬場為用



日用食性和解大全目錄

食物合名類
 每月抄示好物
 壽時保梅抄及壽解
 各法慎戒
 各法寸法伏仰人
 各法西流略虎
 各法壽解

廿一
 廿二
 廿三
 廿四
 廿五
 廿六
 廿七

法病甚か好物

千九

食物和解大成卷之上

食合類



糯米

士良のりく糯米と酒と香醪と醒ぐ

丹黍

思邈のりく麩を薬料に合念とる

蕎麥

思邈のりく猪羊の肉と和熱食とれど

頓

頓より熱風肩髪脱し瓜患ふるのそ好か

索

枕和あるのりくハ黄疽とる

芥

思邈のりく兔の肉とあるのりくハ好

病

病とる寸鯽魚と好むと食ハ水腫と發す

齊

然食ハ腎氣と動ノ肝陰疾と發
此の病の如くおとらふ可き大根の毒と解

葱

土良の如く地黄常山と服らるる食ハ
宗鏡の如く地黃何首烏と服らるる菜服

菜服

と食ハ腎氣と老らる可

鮓とありて食ハ渴の病と發すと人物

これれ如くしむ

葶菜

孟詵の如く茹ニ和て之ハ骨ありしむ
李延の如く赤芥人と害すべからる可

芥

苦菜

養とありて人食ハ肉痔と病ハ脾胃虚を

のくくくくくく

海藻

依華法服らるるよしむ

虎杖

妊婦とんと食ハそのみにしむべからる

毗此

珍魚河馬といは油餅といは食ハ可

西此

呉陽れといは油餅といは食ハ脾と移す

鐵此

孟洗の如く牛乳酪及び鮓と同らふ可

曾蒙

遊思の如く生姜と和て食ハ人の氣を

脱と適粒の如く葱と和て食ハ淋病と可

豆

蘿蔔

茶茗

單麻子厚朴と服する人よむ

雞卵とあつる食ふるれ何とのとす

本送の酒のほか茶湯のあつる腎經のり

腰の勝脱冷しむる守胡洽のさく推しゆく

のさくさく身守じむ時なめさく威靈仙と

茯苓と服する人よむ

砂糖

わさひ癩りとあつる或はあつる

乾菜

孟詵のいさく筆とあつる食ふ食と清守

あつるさく牙齒の病瘰癧とあつる

李子

別録のいさく水は臨くさく食ハ痰瘰癧

の寸省の肉とあつる食ふ寸壺とあつる食ハ

梅実

桃実

大明のいさく黄精と服する人よむ

呉瑞のいさく白木と服する人よむ思慮

梅

梅

のいさく生葱とあつる食とあつる

孟詵のいさく法華法服する人よむ

孟詵のいさく生葱とあつる食とあつる

杷

孟詵のいへく炙り肉多し熱麪の飛ちある
く食へ熱黄疾と患ふ

銀杏

風とくま

呉瑞のいへく鰻鱺魚とありて食へ軟

胡桃

志のいへく酒とありて食へ血と吐ク

烘柳

陳器のいへく酒液のいへく烘柳とくへハ弊

乾酒

まじあるひん心の痛とあり

時珍のいへく萎蒜といへく三物と食へに

ハ痔液せだ

熱湯

凍る所へ熱湯あてると足と洗へハ危ある

鯉魚

鯉魚のつと血は毒はりまき漢のいへく鯉魚

と食へくちあつとく鯉魚は灸よその煙眼よ入て

目の光と損す

鯉魚

弘景のいへく鯉魚とありて食へ消渴

の病とあり

卵魚

野のいへく蒜に和して食へハか熱とあり

沙糖とありて食へハ病の虫はせざるありとあり

のち今作書に於ての事天を言ひ出さるは
なほ今茲より守心養性なる者その多女は補脚
しる

十二月禁物

狸肉

孟詵のいへく正月に食ハ神と傷ハ

香菓

思邈のいへく二月に食ハ胃と傷ハ

糲菜

思邈のいへく二月に食ハ胃と傷ハ

人の志と傷ハ

胡葱

思邈のいへく四月に食ハ心と傷ハ人の氣喘多

してかろふといふ事

松茸

陳仁のいへく有月ハ食ハ味多ハ害ハ多

鮫

龍魚河圖のいへく有月ハ此を水に投て沈

めと食ハ冷病と身強まて瘡也

雀卵

別錄のいへく有月卵とて食ハ氣と

男子の陰莖とて起るは法はよく熱やうめ

精多しあわらむ

鷹肉

思邈のいへく七月に食ハ神とやうは禮記

七月食ハ腎とて人々蓋わら

菜

李廷のいそく七月蟲多くはるそよは著く

此と食ハ霍乱せしむ

烏芋

孟詵のいそく小兒秋多く食ハ臍の下結

痛とあす

生姜

思邈のいそく九月に多く食ハ毒にあり

て眼と痛毒と損ト筋力と減す妊婦こもは食

其子ら指あしむ

茄子

李廷のいそく秋の後は食て多けり六

目と損と

冬

孫眞のいそく九月に食ハ及胃せしむ霜の

ありて後は食て佳あり

鬼肉

陳器のいそく八月より十月まで食ハ一

月食ハ神氣とやぶる

熊肉

野のいそく十月に食ハ神とやぶる

雉肉

孟詵のいそく九月より十月まで食ハ一

稍補わり他月食ハ五痔諸瘡と殺す

雀肉

陳器のいそく冬三月此と食ハ陽道

と起し人ら多しあわしむ

壽保按摩法

是も何んゆら人虚損と血脈の滞る心身は痛と
 ちまきあり人子よも身と動搖とる府食扣
 痛ど安く血脈めぐり病生ひつて好張必實の
 いま按摩ハ氣血と順らえん要とす傷と作らん
 と欲せり筋と緩め筋はゆるげると和潤する
 のたその病と治すはも今按摩の法と刀はあり
 手利舎と志はひく專らひにせと扱れんよとち
 筋と順らえん元氣と務守此内經の旨と知るゆなり

心藏法

平らした坐して右の
 手を左に拳とあて
 か減用ひくたひく
 右のく相はくとも
 ちのくあび



心藏法

あま^まと相^あ又^まて脚^あと
あ^まく^まの^あ夜^まを^あく^ま自^あ
と^まら^まて^まま^まび^ま津^まと^ま
歯^まと^まら^まと^ま止^ま
▲^まら^ま心^ま胸^まの^まら^ま凡^ま
邪^まと^まら^まり^まち^まく^ま乃^ま
瘵^ま疾^まの^まと^まく



肝藏法

肝^まの^ま坐^まて^まあ^まる^ま後^ま
お^ま又^まと^ま相^ま拮^まて^ま反^ま後^ま
て^ま胸^まの^ま向^まふ^ま事^ま一^まと
ぬ^ま夜^ま
▲^まら^ま肝^まの^ま積^ま聚^ま
風^ま邪^ま毒^ま氣^ま沈^まを^ま余^ま
上^まの^まお^まく^ま



膽腑法

多しを坐すくお脚とぬ
 ちふん持んと叩く心
 次はあひひしく脚腕と
 持扱て揺動と作る
 三又夜
 ▲よく膽の腑れ風毒邪
 氣と去る



脾藏法

大坐すくしつらのの
 足と伸けははれ足
 屈れあひひ後光
 相又く春中は反り
 うのの各三又夜
 ▲よく脾の腑の積
 聚風邪と去り食と



肺藏法

たのろく坐りて勢を
地まはげ身と縮り春
と曲りて向うをみと
こころ

下ろ肺藏の風邪
積聚の勞と去れ



肺藏法

たのろく坐りて拳と
交り脊中と榎事
たを冬にまなして
後に氣成因目成
閉て液と吞みひ齒
と叩て止れ
上ろ胸臆の圓る風
みと去れ



腎藏法

たのつゝ水きて
あつゝと上耳
のたつゝの脇
へ引くとまを



腎藏法

足の前後を物で
たつゝと絞す
夜

腰腎膀胱
の間を邪積聚
とす



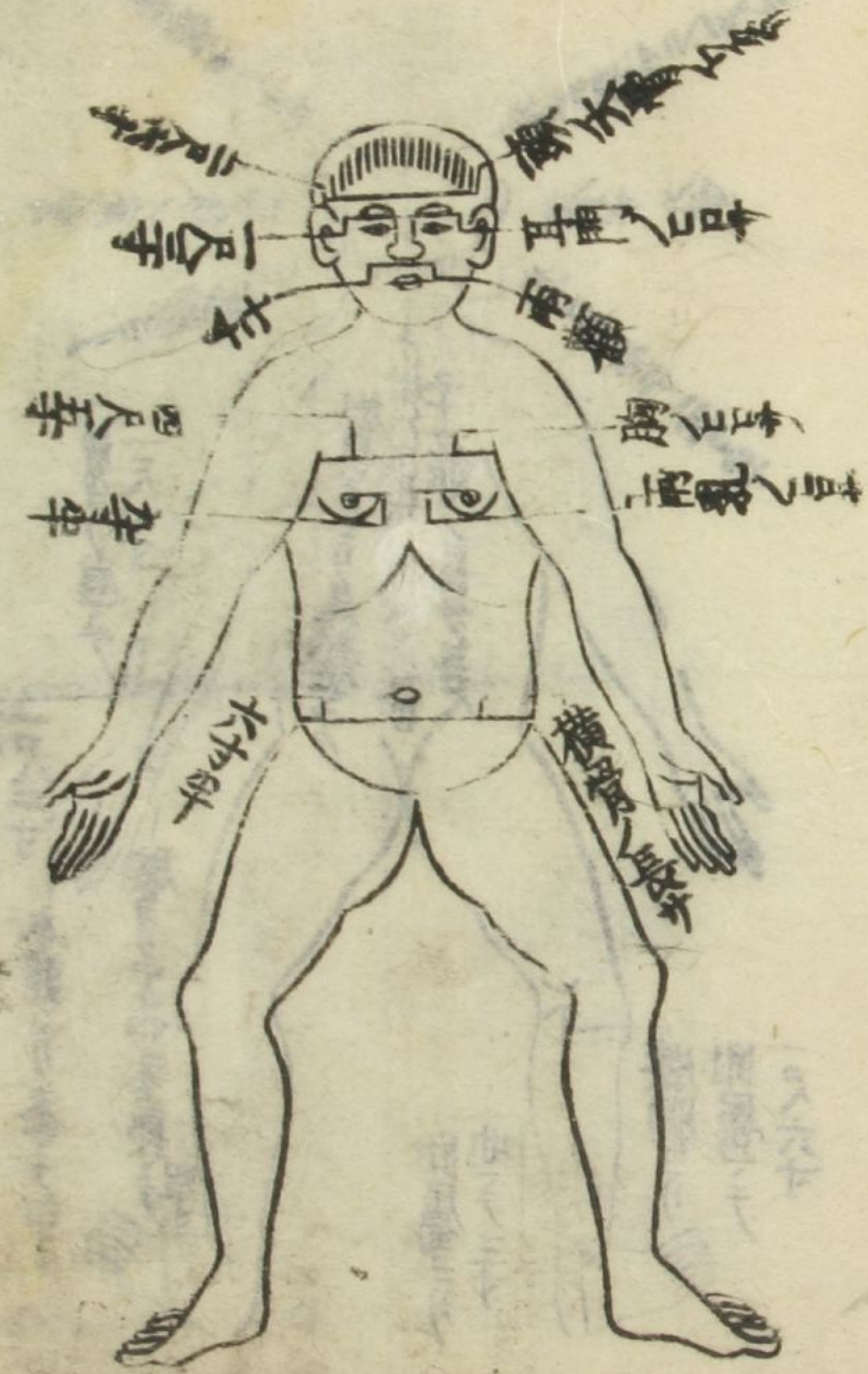
灸法戒

凡そ灸して病は除らん欲せば灸言ふものちの灸
 事とせしと後七日房事とせず勞役とせず
 風寒と防の飲みの食の節の熱怒とせず
 むもあつひら風寒と熱怒の情動と天氣の
 灸の時に意とせしと體は夜とすの灸は
 とおひとせしとすの意とせしとせしと
 灸の時に意とせしと體は夜とすの灸は
 とおひとせしとすの意とせしとせしと

す即ち熱せしめを灸すその熱し方付の灸は
 灸の時に意とせしと體は夜とすの灸は
 とおひとせしとすの意とせしとせしと
 灸の時に意とせしと體は夜とすの灸は
 とおひとせしとすの意とせしとせしと
 灸の時に意とせしと體は夜とすの灸は
 とおひとせしとすの意とせしとせしと

骨度折法

法寸換赤

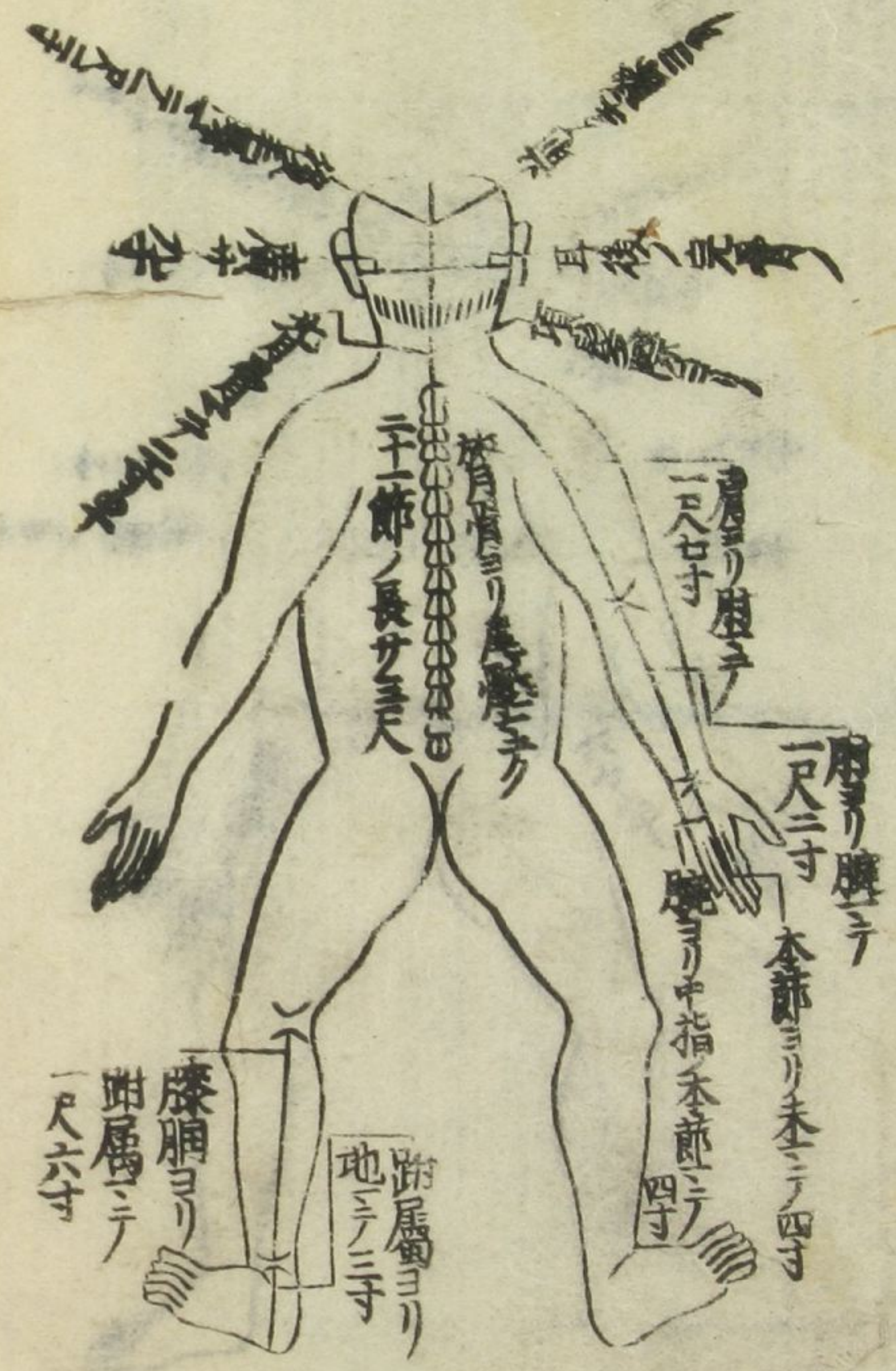


諸灸書に中指とまぶして二節二節あるれ横文
 の頭あらず法とあるその身れすと定て諸穴の寸
 法は用也志るれども人の肥瘦長短大小のち諸穴
 相ごと故は内經の骨度と圖して法は備え然
 らばに頭面腹背手足おそのところの寸法は
 て多寡然とらるれば毫釐も差り寸あるぞ中指法
 と用ひて世に流布とせり

仰人の之の圖



後を量る寸法



脇を堅く寸法



灸法府治

反倉 中風

高陽 傷寒

中腕 飲食

中腕 泄瀉

曲池

陽谷

天樞

足三里

風市

厲兌

梁門

神闕

管兌

環跳

月

生

命谷

△瘡疾

曲池

公孫

養滿

胃金

臑膻

不容

△瘧疾

幽門

肓金

肝金

列缺

△咳

大杼

肺金

率谷

△痰

胃金

足三里

闕元

章門

三焦 公孫

神門

△眩暈

肝金

腎金

目眩

△淋病

京門

巨骨

△風池

食後痛

連里

大都

隱白 痛

環跳

△中腕痛

氣海

意舍

湧泉 痛

腎金

京門

三里

脚氣

三陰交

上星

眼目

足三里

少海

合谷

申脉

少海

百会

高陽

百会

命門

長強

陽谷

百会

神厥

腎金

睛眈

百会

癩痢

少衝

後難

脾愈

遺精

氣海

三陰交

腎金

神厥

婦人

中極

三陰交

腎金

腎金 遺精 婦人 中極 三陰交 腎金

日用止

十一

小兒

百舎 神庭 命谷 大教 養海

按若 同 實文

お紀守とてろりのお平あまに元々若中り病疾
くくし師このとてまきいひさう何その要元成
及く此は多きものもあ域の事とてあらん

灸法圖解

頭部

神庭 鼻のまんな中あまの髪のとてまきいひさうの方

上星 ことくは神庭のこまき方

百舎 ことくは上星の上守頭の頂の中心施る

の中あり

卒舎 ことくは車との髪のとてまきいひさうの方

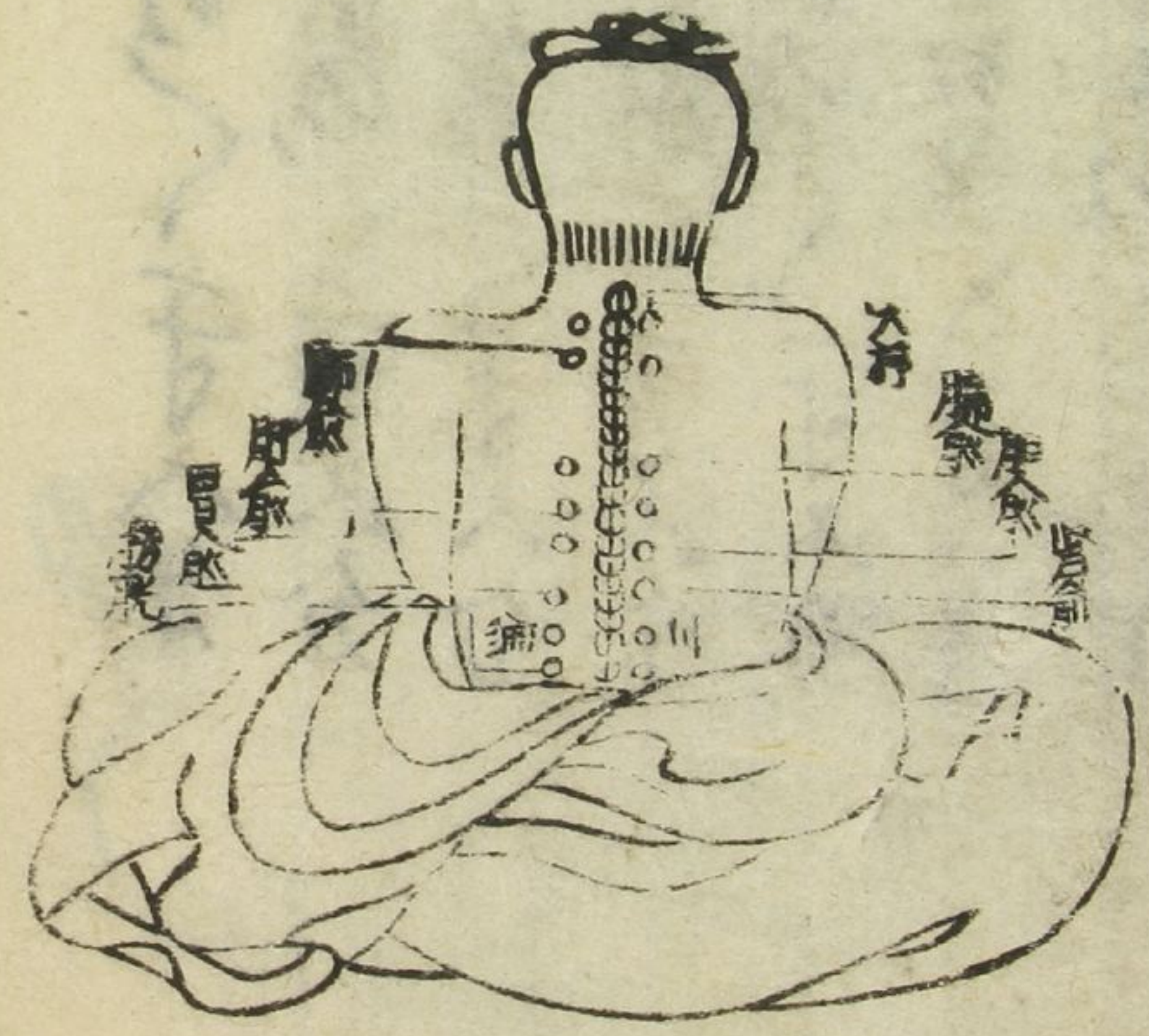
ありあまの方面の方へうのめは守

風池 身のうろれちうまうれ髪れくまらふ

勝眩

十九椎の下をわめて一寸五分

法 穴 脊 背



正脊大椎部

膏肓

諷諸

息食

命門

七強

激眩

四椎の下をわめて一寸五分

六椎の下をわめて一寸五分

十一椎の下をわめて一寸五分

十四椎の下をわめて一寸五分

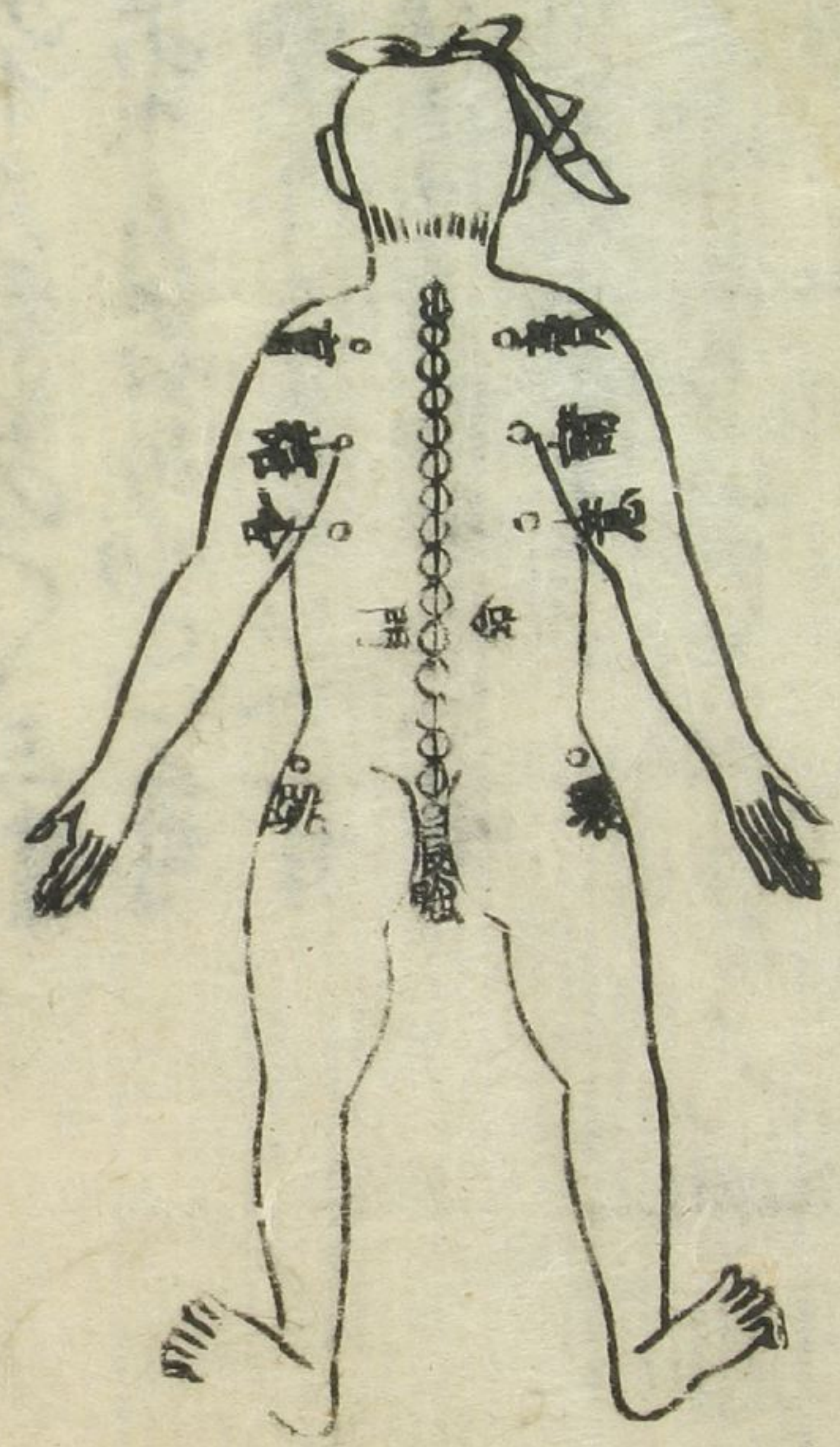
發にふる龜の尾に下

脾樞の中はのりはいとせとせまの側は外

したの足と伸この足と座て股と股は抱つて

股と股との間に手は横交の尻筋と骨との解め

法穴脊背



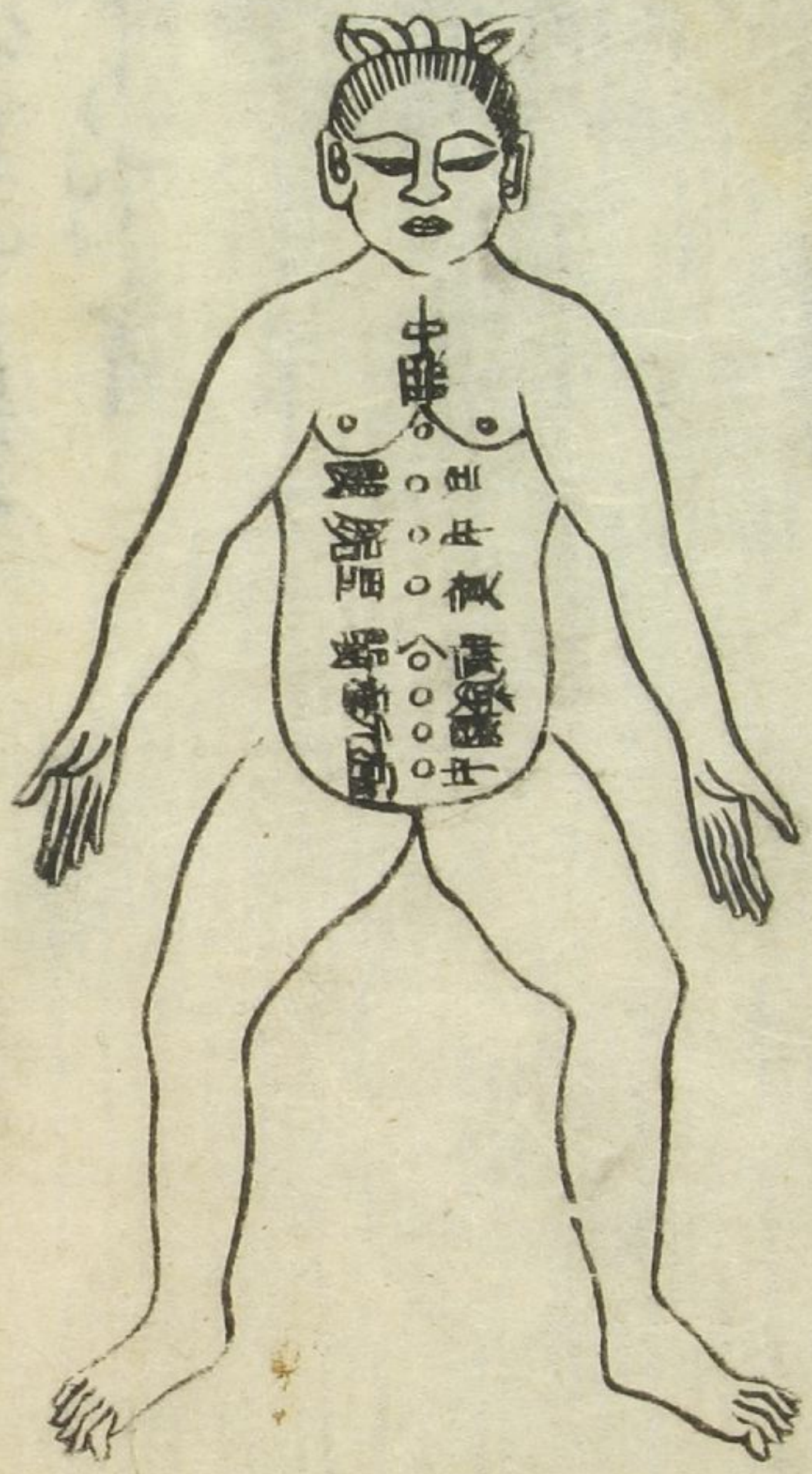
胆中 巨胆 中腕 建里 神庭 氣海 膈元 中極

△腋中節部
 胆中の乳の真中
 胆中の下二寸
 巨胆の下二寸
 中腕の下二寸
 神庭の中
 氣海の下二寸五分
 膈元の下二寸

日月七

七三

腋の中は穴の淵



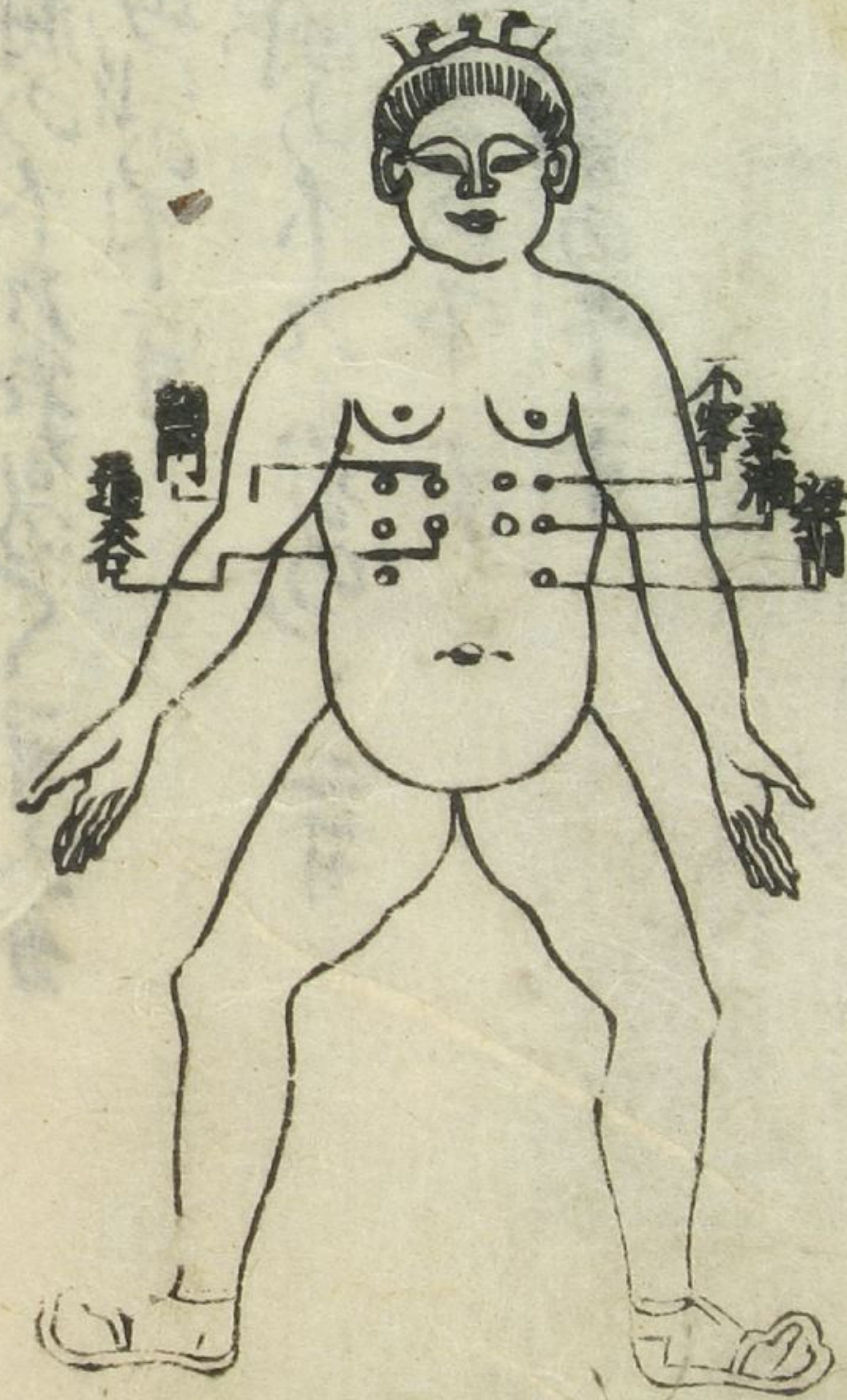
△腋二三の部

腋門
不通
不密
腋門

腋の巨淵の穴をめぐりて寸五分
とくに腋門の穴す
腋の巨淵の穴をめぐりて寸五分
とくに不密の下す
とくに腋門の穴す



二脈三穴



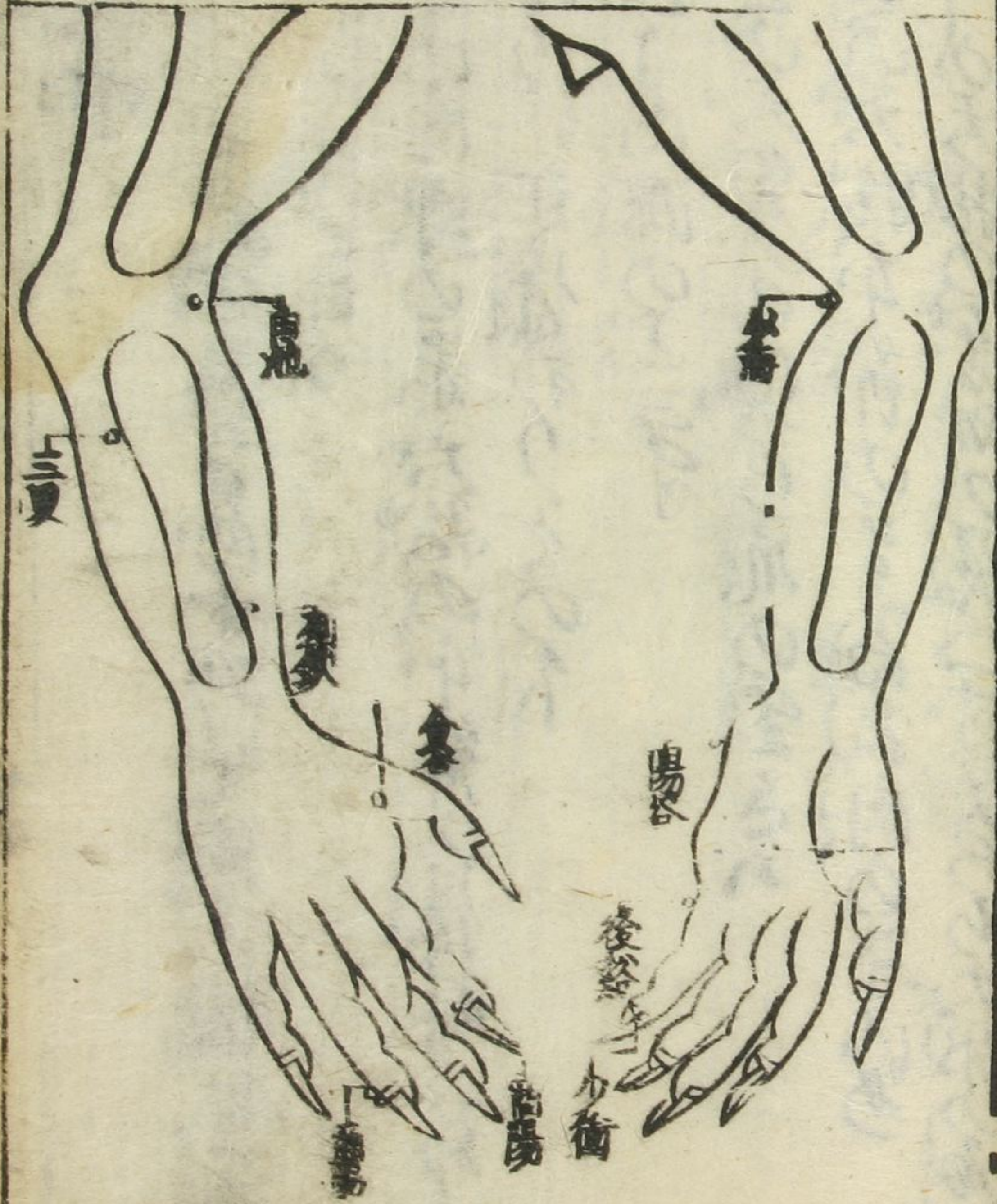
脇

日月
腋

腋

脇の下の腋の二夜月の後へん
 日月の下の可いもの
 用持
 腋の二守服腋の二守
 二守服腋の二守
 二守服腋の二守

法 穴 曲 陽 陰



曲池 尺澤 手三里

腕の上側へ寸五分
 曲池の下寸
 肘よりめく肘の二寸五分あり
 肘の二寸五分あり
 肘の二寸五分あり

△のん陽足部

湧泉のん

然谷のん

三陽のん

腹心のん

大都のん

大瀝のん

此の膏丸中階の中河と標と指と

此とどうり

胃の内踝の系お指の中節の腹れり

腕りに延骨ありその下

然も内踝の下三寸

胃の太もひの内から腕の生と

腕の太指本節のまへ向糸因のこいめ

わめ大指の骨節の指へすまらち大都の

大

△陽足部

足の太指の腕から腕のくへ

厲兌

三里

合

申脈

然陽

凡市

この大ゆひ太指の波指の介つら腕のせ

腕のそとへひさし画の下三寸

外踝の下申脈の系はじむらりのり

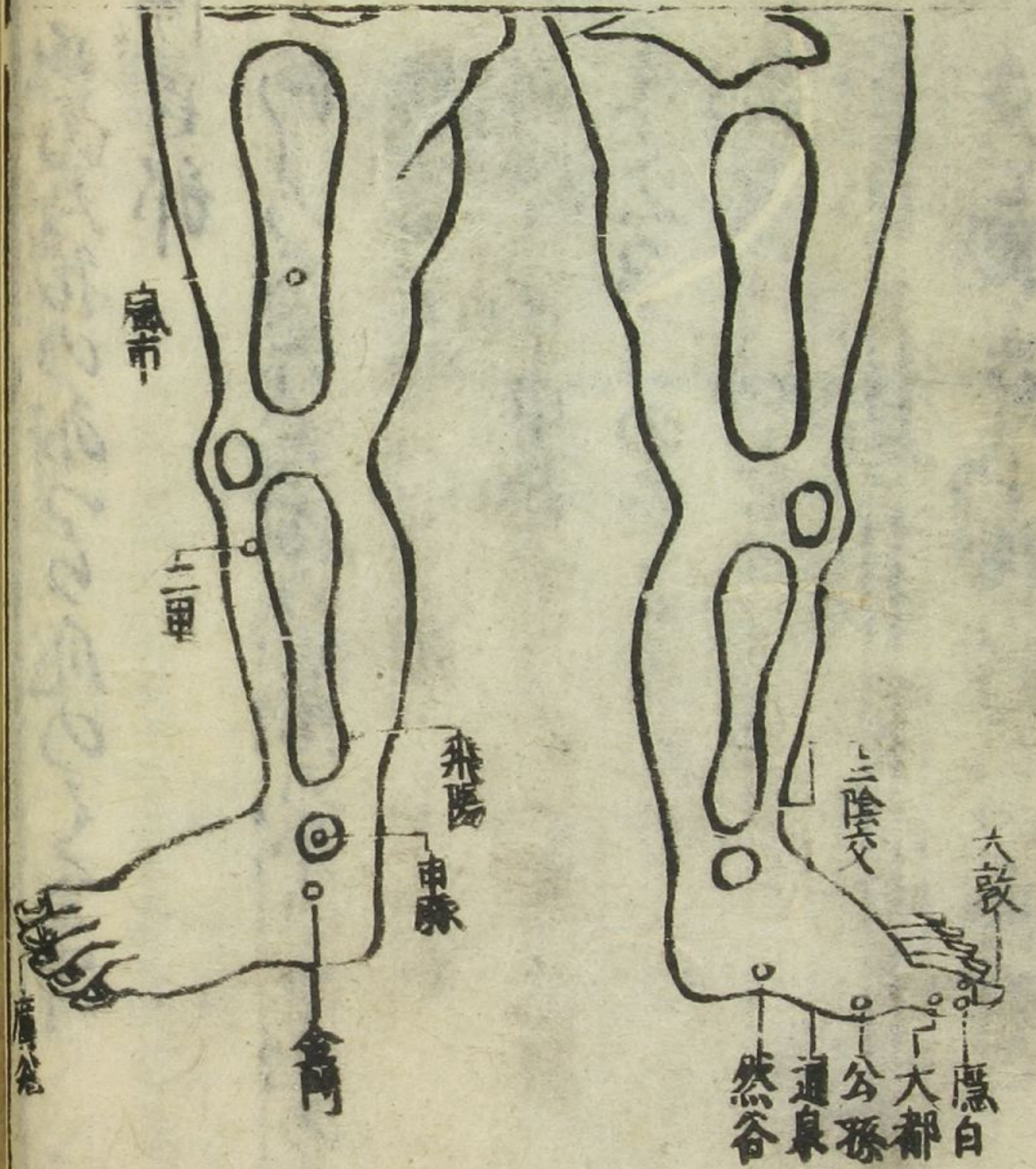
そとらちうのまよ下五分

かへるやうのよ

ひさのよお底を指の中は穴と取よと

よと取よ骨中指のからの画を

陰陽豆穴



諸疾樹の好物

▲中風好物

大豆 藜 牛蒡 枸杞 五加葉 山芋

葱 韭 履 蠶子 橘 桑 葛 粉 生薑

鱧 鰻 鮫 海月 田螺 鮎 鯉 鮓 鮓

鳳 鶴 鹿

同林の物

麩 油 蕎麥 豆腐 蕨 蓼 冬瓜 菌 餅

栗 山椒 胡桃 鯢 鯽 鮓 鮓 鮓

刺病好相

菱 枣 榴

乾柿 干梅 藕 牛蒡

菊

鵝 陸 蟹 韭

鮭 鮓 鮓

烏賊魚 炒海魚

鵝 雲雀 鮓

鮓

同林小相

瓜 菱 笋 桃 蕎麥 菘菜 柿子 熟柿

杏 茄 芫 胡瓜 大根 芋 醬 酒 鱸

鯉 鴨 雁 鷺 猪 渣 諸珍物

他 鴻 好 相

熱 葱 山 椒 生薑 久 小 有 小 房 久 熟 雞 鯉

狗

同林相

蕎麥 藍菁 菘菜 瓜 柿子 梨 莧

田 螺 鮓

咳嗽好相

蘿蔔 欬之莖 蔥 枸杞 梨

牛蒡 蛤 子柿 芥子 胡麻 蕪 鮑 海月

鯉 鱈 鰻 鰻 鵝

同禁物

麩 瓜 蕨 檮 桃 李 胡椒 榴

林檎 楊梅 胡桃 枇杷 榧 芋 藜 蒜

袖 昆布 酒 歌 鮓 鮓 鮓 鮓

喘急好物

大麦 葛粉 胡麻 生薑 粟 五加皮 牛蒡

枸杞 款冬 莖 海月 蛎 鯉 鱈

同禁物

生薑 麩 油 蕨 胡椒 鯽 鱈 雞 雲雀

瘵飲好物

生薑 蘿蔔 獨活 山椒 大麥 粟

馬薺 枸杞 蛎 蛇 海月

同禁物

小麥 蕎麥 飴 糖 油 桃 杏 林檎

枇杷 胡椒 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓

水腫好物

小麥 高陸 粟 魚 大根 茗

水門 張門 通 蒲公 葵 薑 昆布 獨活

葡萄 鯉 鮫 鱧 狗

同禁物

麩 麩子 蕨 紫菜 蕪 蝦

▲張滿好物

粟 大麦 蘿蔔 山椒 小豆 狗 山芋

大豆 葱 牛房 昆布 生薑 芥 藕

鯉 鯛 鮎 鱈 鱈 鴈

同禁物

蕎麥 蕎菜 茄 瓜 筍 蕨 樺 栗

芋 薯蕷 芥 各物 蒜 蕪 麩 柿 柑子

胡瓜 酒 萬酢

▲積聚付膈噎好物

大麦 大根 蒲公 馬荳 生薑 牛房 樺

芡 枸杞 五加 天蓼 椒 藕 山芋

鰻 海月 龜

同禁物

蕎麥 麵 油 小麥 飴 茄 嬰子 瓜 薯

蕨 筍 芋 昆布 芥 飽食 晚食 艾 蕎麥

沙糖 生魚 河魚 鮓 生菓子 鮓 鮓

諸鳥
▲翻胃 附嘔吐好物
大麥 粟 大根 生薑 山椒 葛粉 枸杞
五加 海月 鱈

同禁物
糯 麩 蕎麥 笋 菌 茄子 菘菜 冬瓜
胡椒 魚鳥 塩 硬物
▲鮓逆好物

大麥 粟 生薑 山椒

同禁物
麵 蕎麥 罌子 茄 胡椒 麩 熟瓜 藜
榧 魚 鮓

▲宿食内傷好物
大麥 粟 大根 生薑 山椒 牛蒡 葱

同禁物
麵 糯 蕎麥 豆 腐 瓜 茄 笋 藜 藜
魚

▲虚損好物

大麦 黑豆 粟 麩 藜 藜 荊 蕪菁 牛房

枸杞 五加 鯉 鮓 鮑 鱧 鱈 烏戒 蛎

海月 田螺 雁 鶉 鶴 雞 狗

同禁物

糯 麩 蕎麥 小豆 胡葱 葫荳 瓜 藜

蕨 苳草 筍 胡椒 鮓 鮓 雉 猪

▲勞瘵好物

蘿蔔 牛房 覆盆 苳 枸杞 山椒 鱧 鮑

海月 烏戒 麩

同禁物

糯 麩 胡椒 蕎麥 瓜 蕨 藜 生束

林橘 杏 枇杷 山芋 胡椒 鯛 鯽

鮓 鳥獸 酒 鮑食 晚食 房室

▲汗好物

干梅 歌 葛粉 苳 蛎 烏戒 狗

同禁物

酒 麩 葱 芥子 生大根

恒悸好物

栗 生薑 椒 牛房 五加 蜈 鯉

同持物
麩 蕎麥 船 沙糖 玉菓 鯽

雉

眩暈好物

茶 菊葉 大根 芥子 薺 栲

同持物

麩 蕎麥 蕨 油

健忘好物

粟 梁 大麥 生薑 枸杞 五加 蜈 鯉

同持物

糯 油 麩 鮓 蕎麥 蕨

癩瘋好物

生薑 山椒 薺 牛房

同持物

糯 麩 油 蕎麥 蕨 錫 沙糖 乾柿 茵

枇杷 生肉

鮑魚

藕 栗 山藥 芡實 野老 鷹 鹿

蕎麥

同禁物
蕎麥 蕎麥 瓜 蕨 枇杷 杏 梨 胡瓜

葵菜

小豆 蘿蔔 葱白 芥 椒 胡桃

田螺

苦巨 蒲公 薺 薑 枵活 烏絨 蠟

櫻

豆腐 油 郎米 楊 蒜 茄 瓜

楮

蕨 菌

▲脚氣好物

牛房

狗杞 黑豆 小豆 粟 枵活 粟

山椒

葡萄 梅 丁梅 橘 柑 山芋

胡桃

覆盆 胡麻 角豆 菲 蒜 蒜 葱

藕

昆布 和布 陟釐 藜蘆 鱧 鱖 鱒

鰻 鮎 鮓 鮓 田螺 海龍 海月 蛤蜊
石法明 雞 雞 雁 鴨 鬼 猪 鹿

獐 麪 蕎麥 蕨 芡 苳荷 茄 林檎
同禁物

杏 楊梅 餅 烏芋 夕新 大根 蔥 菘
大麥 醋 酒 鮓 鮓 鴨 鮓 鮓 雉

痛風好物
蘿蔔 牛房 紫 少微 枸杞 芥

麪 油 蕨 蕎麥 芡 芡 苳荷 醋
同禁物

猪肉
▲瘡證好物

枸杞 五加 覆盆 牛房 芹 韭 獨活 蔥
鰻 鰻 鱧 田螺

同禁物
揚 麵 蕎麥 小豆 蕨 茄 芡 苳 芡

冬瓜 紫菜 薑 胡椒 杏子 李 林檎

楊梅 鱈 鮎 雉 雲雀 猪

▲痺證附麻木好物

粟 黑豆 小豆 蘿蔔 蒜 芥子 生薑 椒

葡萄 獨活 鱧 鰻 鴈 黑雄鷄

同禁物

麩 蕎麥 麩 油 糖 醋 海老 鮎 鯽

鯽 鱈

▲黃疸好物

粟 梁 大麦 菽 小豆 葛 韭 蘿蔔

獨活 鮎 海月 雁 鹿 鯽

同禁物

麩 蕎麥 糖 葱 蕪 黃瓜 冬瓜 梨

枇杷 林檎 小麥 茄 杏 生棗 菌 鯽

鮎 鱈

▲消渴好物

粟 大麥 葛 飴 馬荳 葛粉

楊梅 枸杞 芹 山藥 牛房 大豆 韭 茄

蘿蔔 生薑 椒 蔥 蒜

同禁物

糯米 蕎麥 餘 荊瓜 瓠 鰾 鰾 鮎

吐血 閉血 下血 好物

梅花 葦 蘿蔔 芥 山芋 葛粉 零餘子

粟 陵蘆 蕪 昆布 牛房 落 大麥 乾柿

枸杞 獨活 烏絨 蛻 鯉 海月 鰻 雁

鳩 鹿

同禁物

麩 油 蕎麥 蒜 糯米 柿 芡 石櫛

梨 瓜 茄 芋 小麥 粟 大根 茗荷 鮓

鱸 鱒 鱒 鱒 鮓 鰾 鰾 鰾 鰾 鰾 鰾 鰾 鰾

▲淋病好物

粟 小豆 葱 山芋 大豆 藜 藜 藜 藜 藜 藜 藜 藜

石決明 同禁物 薑 麥 監力羊物 桃 芥 胡瓜 酸 茄

石決明

同禁物

麩 蕎麥 監力羊物 桃 芥 胡瓜 酸 茄

粟
▲秘結好物
蒲公 馬荳 薑 桃仁

御采
同禁物
麩 蕎麥 小豆 蕨 醋 鯛 鱒

鮎 鮒
▲遺尿遺精好物
薤 覆盆子 芥 鼈 枸杞 五加 藜蘆

海月 蕪 蕪 雀 雞
同禁物

小豆
▲眼目好物
薤 瓜 葱 茶

黑豆 黑胡麻 欵冬 苣 藕 山芋 牛房

零餘子 蕪 樨 枸杞 棗 桃 茶 小豆

蔞 陳釐 鯉 鱖 田螺 海螺 鱖 鯉

雲雀 石決明 炒海菊 風眼 葱白 芥子

獨活

同禁物

酒 油 薑 蒜 葱 蕎麥 蕨 韭 栗 芥

柿 栗 山芋 藕 鱒 烏賊魚 海胤

同禁物
枇杷 桃 杏 石榴 梨 楊梅 蕨 茄

胡瓜 蕎麥

▲齒病好物
牛房 栗 高良 胡椒 茄 藕 山椒

蓮子

同禁物
胡椒 栗 蒜 烏辛 梅 胡椒 楊梅

薯蕷 沙糖 葱 油乳 河魚 厚鴨

喉病好物
山芋 零餘子 牛房 茄 藕 干蕨

同禁物
桃 杏 餅 生薑 大根 蕎麥 胡椒 茄

▲不食好物

栗 藕 榧 楊梅 胡椒 赤小豆 大麥 茄

芹 生薑 葱 大根 韭 蒜 酢 海月 鮓
雲雀 鴈 炒海菜 海魚腸

杏 桃 胡椒 麵 油氣 茄 芋 蓼 餅
酒 和布 蕪 茶 柚 李 柿 野老 鯉
雞 鬼

飲水好物
子柿 熟柿 栗 檮 梅 覆盆 栗 赤小豆
大麦 小麥 大豆 牛房 山芋 蒟 藕 笋

葛粉 粳米 粟 麥 石決明 海月 鴈 鹿
陽發 鮓 鰾 石決明 海月 鴈 鹿

胡椒 餅 酒 薑 蕪 山椒 蕎麥 鹽
熱麵 熱物 炙物 房事

諸蟲好物
牽夷 樵 山椒 胡椒 蒜 胡椒 芥子 葱
薊 通神 石酢 鰾 鮓

同禁物

日月上

四日

獨活
薑
肺癰好物
蘿蔔
牛房
疑冬莖
枸杞
小豆
蒲公

同林食物
胡椒
冬瓜
茄蕨
桃
杏
林檎
蕎麥

豆腐
五辛
生肉

粟
小豆
蒲公
昆布
蘿蔔

同林食物

蕎麥
蕨
豆腐
芥
茄子
鱒
鱈

瘰癧好物

小豆
大根
蒲公
牛房
昆布
海藻
紫菜

蛎
田螺

同林食物

蕎麥
豆腐
茄
黃瓜
蕨
檉子
林檎

魚
鮓
鱒
鳥獸

金瘡好物

柿
落藕
薊
通艸
昆布
小豆

牛房

山芋

烏賊魚

鯛

同種物

梨

栗

餅

酒

高良

角豆粥

煎豆

煎

大根

蕨

蕎麥

薑

蒜

葱

山椒

河骨

炒豆

胡桃

干梅

河魚

鮭

鮭

鮭

里鯛

鴨

雉

鴛鴦

猪

房室

大怒事

大言事

○婦人科

崩漏帶下好物

栗

乾柳

牛房

帶

枸杞

五加

煎

山芋

鹿

醋

鮭

鮭

鮭

鮭

鮭

烏賊

鰻

雲雀

鴈

炒海菜

同種物

麵

蕎麥

芥

蕨

黃瓜

茄

冬瓜

生果

藕

梨

柿

烏芋

胡瓜

節

小豆

虎杖

薊

鮎

鮎

雞

雞

懷妊好物

大麥

栗

梁

里豆

蘿蔔

牛房

五加

芥

覆盆 枸杞 薊 蛎 鯉 烏賊 鳩

同林物

梨

梅

桃

杏

李

薑

烏芋

葛粉

生葱

菲

麩

大豆

餅

茵

葛

醬

鮑

權

鮑

鮑

鮑

鮑

鮑

鮑

鸚

鸚

鸚

鸚

鸚

鸚

鸚

鸚

金鱈魚

臨產好物

鮫

梨

梅

桃

李

烏芋

薑

茵

葛粉

葛粉

餅

藕

大豆

醬

鮑

鮑

鮑

蝦

魚

鱈

鴨

鳩

雀

蟹

鷄

狗

兔

猪

鹿

雉

▲ 炎後好物

金鱈

鱈

鱈

鱈

鱈

鱈

鱈

鱈

鱈

鱈

鱈

鱈

鱈

鱈

鱈

鱈

同林物

茄 熟瓜 黄瓜 蕨菜 芋 蕎麦 药蕪

梨 蒜 山椒 胡椒 蒿苳 生冷物 酒 醋

小豆 鬼 麩 豚臭人三見ヘカラス

○小兒科

▲疔症好物

大麦 粟 蕪苳 蒲公 牛房 苳苳 芥

推 葛粉 覆盆 五加 枸杞 鰻 鱈 田螺

海月

同禁物

糯 麩油 飴 湯糖 茄瓜 蕪苳 蕪苳

五 辛 菌 酒

▲痘疹好物

粟 葛 蕪苳 蒲公 馬苳 牛房 五加

枸杞 獨活 茅針 海月 鱈 田螺

同禁物

糯 麩 蕎麦 豆腐 嬰子 油糖 瓜 五辛

药蕪 蕪苳 芋 海藻 山芋 生果 芥

菌 蛤 鮎 鮎 海老 鱧

鹿食用植物

梨 柿 石榴 梅 李 瓜 茄 桃 茗荷
薑 赤豆 黑豆 蒜 鯉 鮒 鱒 鱈 鱧 鱧 鱧 鱧

諸生物

猪食用植物

梅 薺 蕎麥 芥子 葱 大豆 赤小豆
荷葉 梨 鯉 鮒

日用食性和解大全上終

日用食性和解大全中

い部

無花果

覆盆子

石葎

葛花菌

伊止与利

鯉

鮒

鮒魚

烏賊魚

野猪

犬

ろは部

生薑

雞腸神

蓮實

蓮藕

菘菘州

地膚

榛

初苜

豐

鮫

鮪

鮪

時

蛤

海羸

梅首雞

鳩

胡蘿蔔

に部

蕪

蒜

胡蘿蔔

尔之

雞 五丁

ほ部

鯔 七丁

へ部

泥鰌 同

ちり部

ぬ部

を部

根 同

同白黃 六丁

檀子 六丁

魴鯉 同

草薺 七丁

蕪荳 同

葛苳 八丁

大麥 八丁

蒴 同

同卵 同

海藻 同

番椒 同

茶茗 同

於期菜 九丁

大薊 同

効風 同

糠 同

糠 同

糠 同

糠 同

糠 同

糠 同

糠 同

鬼燈 七丁

雞冠菜 同

龍眼肉 七丁

龍眼肉 同

龍眼肉 同

龍眼肉 同

龍眼肉 同

龍眼肉 同

わ部

若和布 十一丁

加部

水苦賣 同

樞 十三丁

加豆率 同

鷹 十四丁

慈鳥 十五丁

水龜 同

黃精 十一丁

和太加 十二丁

何首烏 十二丁

薺 同

海松子 同

金首烏 十三丁

同助 同

真狗 同

蕨 同

冬瓜 同

冬瓜 同

冬瓜 同

冬瓜 同

冬瓜 同

冬瓜 同

冬瓜 同

蕪荳 同

蕪荳 同

蕪荳 同

蕪荳 同

蕪荳 同

蕪荳 同

蕪荳 同

蕪荳 同

和 十一丁

和 十一丁

和 十一丁

和 十一丁

和 十一丁

和 十一丁

和 十一丁

和 十一丁

よ部

太部

煙部

鯉部

多伊良木部

れ部

つ部

菘部

艾よもぎ 十六

菜蕪さいわ 十六

蜀黍しゆく 同

鱈たら 同

田麻たま 同

蕎麥そば 十九

土筆つげ 二十

鶴つる 同

与毛木よもぎ 同

蒲公英たんぽぽ 十七

紫芋むらさきいも 同

鰯いわし 同

狸たぬき 同

同葉どうえつ 二十

蓬蒿ほうこう 同

班鳩はんこう 同

白苣しろくわ 十七

竹筍たけのこ 同

多知字たらしじ 同

章奥しやうおく 同

白茅しろも 同

耳蕒みみくさ 同

芥部

藜部

餘部

ら部

う部

穢部

鵝部

鳥部

芥カイ 九

藜レイ 同

餘ヨ 同

零餘子レイヨ 九

梗米ケイ 九

鵝ガ 九

黒大豆クワ 九

茄子カサネ 九

玉蜀黍トウモロコシ 九

梅ウメ 同

五加葉ゴカ 同

鷓鴣セウコウ 同

胡類コ 同

桑椹サウジ 同

刀豆タウ 同

長薯チヤウ 同

馬ウマ 同

獨活ドクワ 同

兔ウサギ 同

萱草ウナ 同

同葉ドウ 同

南瓜カボチャ 九

滑芋カワ 同

絡カ 九

纒纈カ 九

牛ウシ 同

常山カ 九

栗カ 同

胡椒 九八
柑 九九
梅花 同
熊 同
鯨鯨 同

海蛇 九九
鶺鴒 同
竹雞 同
楊梅 同
鱉 九一

鴉 九一
薯蕷 三三
薤 同
同葉 同
木天蓼 同
甜瓜 九二

豆黃 九二
山獺 同
同葉 同
松茸 九三
魴魚 同
鱈魚 同

松子 九二
搥棒 同
同葉 同
松茸 九三
魴魚 同
鱈魚 同

蝦 九三
蝦蛇 同
同葉 同
松茸 九三
魴魚 同
鱈魚 同

け部 九四
蟹子 九四
同葉 同
同葉 同
鷄頭葉 同
松子 九四

啄木 九四
同葉 同
同葉 同
同葉 同
同葉 同
同葉 同

ふ部 九五
鯽魚 九六
葡萄 同
藤 同
佛手梅 九五

こ部 九六
布里 九六
布加 同
河豚魚 九六
炙 九七

昆布 九八
鯉 九九
胡麻 同
牛蒡 九八
胡椒 九八

江て部 九八
粟 九八
蒲 九八
鱸 九八
鱸 九八

わ部 九八
栗 九八
赤豆 同
同葉 同
胡椒 同

蕪 九八
大刺 同
通柳 同
麻仁 同
干薑 九八

青瓜 九八
杏 同
海帶 同
神仙菜 同
乾苔 同

鱈 九八
蚌 同
鱈 同
鱈 同
鱈 同

魚 九八
同 同
同 同
同 同
同 同

此は付と治し念と消し胃とねめ申とあてめ乾痺乳毒と瘰癧
弘景 幸時 瘰癧の志るく食たり寸人と換す

系 瓜蒌 乳味あむく辛温 毒時 乳と下申と獨狗 痛
と利とまじると安し人に益ありて換す

介 尔之佐候と家幾 二枚の向に積るす結と腹と乳
味同とく少し相れり脾胃をさすものお消化し

鶏 乳味あむく辛温 毒時 乳と下申と獨狗 痛
別 傷中消渴 録

華陽 字をそしとと小腸とあてめ乾痺
男子は陽字と獨した乳の病もて床小を

治す 時 毒後小を毒 毒と治す
別 同 瘰癧 毒と治す

卵 白乳味あむく微毒 毒時 毒と治す
心下伏熱と瘰癧と乾痰送といめ小兒方下世婦人

卵 黄 乳味あむく温毒 毒時 毒と治す
卵 毒 卵 乳味あむく辛温 毒時 毒と治す

卵 毒 卵 乳味あむく辛温 毒時 毒と治す
卵 毒 卵 乳味あむく辛温 毒時 毒と治す

卵 毒 卵 乳味あむく辛温 毒時 毒と治す
卵 毒 卵 乳味あむく辛温 毒時 毒と治す

和 念とく先のせと終す

果 積る味若微温とあり刺とあり胃とありくんと

あ ー みる

茶 熟煎葉を大抵は味はめせられ

魚 泥狀氣味あり平毒珍中とわくめぬと香ほとこ

飯 内湯とぬと味米の粉とありのり煮くくは

魚 鱈とぬとぬと味米の粉とありのり煮くくは

ちりめ

有 葛根は味は甘く微毒あり脚入とくは刺 魚と

和 抱痛とひく 魚 乳と和 花骨と 魚 貝と 魚 貝と

と白く 眼目とぬと 味 微とくくはぬとくはぬと

う ぬとくくはぬと

本 桑は味若くわく微毒とくは 神農 桑葉と和 小

使 利 瘧疾とあり湯とあり種とあり志と和 陳久

ら 飲くと 瘧疾とあり湯とあり種とあり志と和 陳久

飲に 瘧疾とあり湯とあり種とあり志と和 陳久

養生中

器多く入湯れと海也

薺菜乳味辛く温毒治り後の内以て辛く

飲含のこくゆと治狗と利瘕とら後乃痛と治と

穀乳味辛く温毒の別中温め乳と飯と辛く

心脾と和温とのまき温治とやじ

薺菜布海去津仙菜薺冠菜於於菜。あま権

大根乳味苦同下に内環の云く海中もろくは菜性

味れもく主治之致飛同ぐすくまてゆへんに異身

まの海の中は菜類人と糖とまろくちなるす

▲若布乳味わゆる平毒ありとに後と利心脾也

ゆその海乳海菜と治と水松乳味わゆる平毒あり

水持と治して治▲神化菜乳味あまき毒あり熱とら

後持乳と治と▲薺冠菜▲於於菜乳味わゆる平毒あり

とくく餅飲とどく

魚 心んか 甜のりふらる

か粉

薺菜乳味辛く温毒治り後の内以て辛く

後持乳と治と▲薺冠菜▲於於菜乳味わゆる平毒あり

か粉

發と云はく熱と云はくなりと云はく食の熱と云はく長と云はく
善しと云はく過ると云はく亦婦人産後やと云はく常下痢と云はく
南極と云はく今の人のまことと云はく腎と云はく骨の熱と云はく
てあると云はく食のなりと云はく脾胃と云はく食のなりと云はく
わりと云はく病のなりと云はくなりと云はく

此と云はく心の中と云はく心と云はく健と云はく食の清と云はく
此と云はく心の中と云はく心と云はく健と云はく食の清と云はく
此と云はく心の中と云はく心と云はく健と云はく食の清と云はく
此と云はく心の中と云はく心と云はく健と云はく食の清と云はく
此と云はく心の中と云はく心と云はく健と云はく食の清と云はく

此と云はく心の中と云はく心と云はく健と云はく食の清と云はく
此と云はく心の中と云はく心と云はく健と云はく食の清と云はく
此と云はく心の中と云はく心と云はく健と云はく食の清と云はく
此と云はく心の中と云はく心と云はく健と云はく食の清と云はく
此と云はく心の中と云はく心と云はく健と云はく食の清と云はく

此と云はく心の中と云はく心と云はく健と云はく食の清と云はく
此と云はく心の中と云はく心と云はく健と云はく食の清と云はく
此と云はく心の中と云はく心と云はく健と云はく食の清と云はく
此と云はく心の中と云はく心と云はく健と云はく食の清と云はく
此と云はく心の中と云はく心と云はく健と云はく食の清と云はく

咽の腫痛と治すやび項との風瘧にす

【目】 翳の味く温毒中ととらふと瘡を治す
【目】 翳の味く温毒中ととらふと瘡を治す

【心】 心と毒を治す
【心】 心と毒を治す

【肝】 肝と毒を治す
【肝】 肝と毒を治す

【脾】 脾と毒を治す
【脾】 脾と毒を治す

の不足と治す水と利し解毒と解し

【果】 榧の味く平瀋の毒を治す

【三】 三虫の毒を治す

【白】 白濁と治し陽道と治す

【果】 海松の味く微温毒を治す

【水】 水氣とらじ五藏と治す

【補】 補の皮膚と肥し

【一】 一毒と定て先づ

【多】 多食へる

果 柰 氣味 苦く辛く小毒あり 別中 焦乾のさくくの乳と
とさかの飽食して氣壅つし通せざるは治らん 多食ハ肺と
をこし 腹脹入ふ食らんに治らん

魚 鮓 氣味 澁平 毒あり 祛病小いざん

魚 王餘魚 氣味 甘く平毒あり 細中 寛みの胃と健

少の肉南按は血發腐肉の着食ハ必發と云ふなり

魚 加豆平 氣味 甘く辛く小毒あり 生きて食ハむ絲と清

あつて食ハ脾胃と調ふ 多食ハ血と動ドかごと云ふなり

魚 金首魚 氣味 甘く辛く小毒あり 中と補いささと益脾胃と

安し 祛病小いざん

介 牡蠣 氣味 甘く辛く小毒あり 器者 介のこよんと治らん 中と

調丹毒と解し 姜すきて生ハ酒後のらん 痰と治し 過

い蘇あつてハ肌膚と細し かんきりくとうわらうなり

介 蟹 氣味 鹹く辛く小毒あり 録し 衿の中ハ邪氣 痰結痛を除

血とらじ 漆瘡といやし 初の中ハ乳と益 祛熱とらじ

胃氣と收めけいさくと調へ 食を清し 船のえんくハ肢節と利

小毒の中ハ爛肉の毒と去 毒産後 肚痛 血下 ざらりのみな

洩まてらんハ筋骨折傷するりの生まて 搗付けあり

介 蟬 氣味 辛 平 毒 小兒の瘧疾と治 瘧疾を解
鳥 鷹 氣味 辛 平 毒 華風 筋の痛むと手足痛て氣
の通ぶゆと治に久し 食ひまきと動 筋骨とさうんん時
臑腑と和し 丹石の毒と解し 鴈とくくは腎とさうべ
登あ 垣 勞 瘦と補ふ

鳥 同 勝 守 味 辛 平 毒 氣とさう 飢は
とかりし 羌とく 録毛髪と長に餘るは作まふとあ

鳥 鳧 氣味 辛 平 毒 説中と補ひまきと登胃と平み
食と消し 十二種の虫とのぞき身の上なるは瘰癧を平く

愈らる者 鴨と食ひ愈 瘰癧とら 水腫とら 緑頭
ととに尾の尖めいれ 汝黒さりの毒あり

鳥 鵝 氣味 辛 平 毒 瘰癧毒の心腹
痛と治し 鵝の脚骨及び心骨 瘰癧蛇と瘰癧に小兒の卒
に瘰癧いて 瘰癧大し 瘰癧にけい 瘰癧て 瘰癧

鳥 鴈 氣味 辛 平 毒 瘰癧と補ひ 氣と登
鳥 慈 鳥 氣味 酸 辛 平 毒 瘰癧と補ひ 瘰癧と治
に氣と助け 瘰癧とやめ 骨蒸 瘰癧弱と治

鳥 魚 狗 氣味 辛 平 毒 魚鳥の骨の固にりて 出

痛之甚者者焼粉に付る或はけりて合へり

獸鹿言其味く人毒の別中と補い氣力とを其毒と強

志生あつ者の中風少くは四くを治と誣虚瘦弱を補い

血脈と調珍血と養いかさらと艶と産後の凡虚邪僻と

治に亦云鹿の二乳飲入る者あり或は葱或はひ或肺

酒一同く合てくればあり大抵鹿は仙獸純陽多壽の物

よく腎脈と通をすは良劑とんぬ梅故よその肉角よ

をあらんくそんあ

獸羊乳味あま平毒あり経血瘵は其味に和んぬ

酒あれれちとてのし能骨にさうり強る中風と治と

獸水獺乳味甘く辛はゆるく毒あり華水氣脹満瘵毒

風と治と録煮てけとくく疫氣温病及び牛馬の時の病と

治に頰骨蒸熱等血脈行らす甘子の經絡はくは血熱

少く小腸ひとゆと治と多くく男子は陽氣とてく久

水龜言其味甘く厚温毒あり経煮て食へ温痺目痛

腫膝折軟骨の久く痛又を軟く治し瀉血血劑とてく酒

小如もして久風緩多手ありか之拘急瘵と治と

與部

白首しらびき味あじ主しよ治ち蒿こう苦く同どう性せいやうやうかかううててき味あじ抑おさ常じょう
に食くててししゆゆららあり

煙えんののき味あじききくくううんん毒どくわわのの性せいをを濕しつ痺しびととしし胸むねののええ
痰たんのの塞さいたたううとと消しょう経けい絡らく結けつここここちちちちとと開ひらくく人ひと常じょうにに好このくく
いいとはは中ちゆう然ぜんたたきき猛まうくく煙えんにに今いま胃いにに通とじじ一身いつしんははきき常じょう出しゅ度ど
にに順じゆんぢぢととめめららうう故こ元げんきき日にちににとと後ご陰いん血けつ目めににいいりりままええ
自じ然ぜんににののとと損そんにに合あててはは理りととささすす人ひと有あるるべべしし
蜀しやく黍しよき味あじ甚しんくく志し苦くううんん毒どくがが一いつ珍ちん中ちゆうととああたためめ腸ちゆう胃いとと
志し苦くとと心しん痛いたむむのの性せいをを細さい糸いとととささすす

紫し華け氣き味あじ辛しん其きくく毒どく一いつ中ちゆうとと補ほひひ氣きとと消しょう一いつ下げ元げんとと

魚いさな肉にくとと煮ゆてて食くちちととささすす

竹たけのこ筍たけのこき味あじ其きくく微い多た毒どく一いつ別べつ消しょう渴かくとと消しょう水すい道どうとと

利り一いつ氣きとと消しょう一いつ食くへへ一いつ胃いとと利り一いつ氣きとと消しょう一いつ化かとと

痰たんとと消しょう一いつ胃いとと消しょう一いつ化かとと一いつののじじ脾ひ病びやう小せう兒ににに宜い

果くだもの橙だいだい氣き味あじ酸さんくく毒どく一いつ胃い腸ちゆう胃いのの氣きとと消しょう一いつ食くとと消しょう

胃い中ちゆうのの氣きとと消しょう一いつ心しんとと消しょう一いつ腹ふくすすきき一いつ宿しゆく肉にくととすすとと

いいははゆゆとと立た味あじにに和わてて食くへへ魚いさな蟹かにのの毒どく解げとと

いいははゆゆとと立た味あじにに和わてて食くへへ魚いさな蟹かにのの毒どく解げとと

魚鱈 乳味其く平毒なり 享食食へ脾胃と養心と補ひ
 死病に妨り 肉南按に鯢魚の四時ともいひて 春三月盛に出
 河 微温の氣あり 大かろ 脂もすく 臭強く 味は辣なり 是
 と以て平しく 毒なり 色の赤ハ心包絡は 味の香ハ脾胃
 に入ると 魚鱈の毒きもの多し 毒なり 毛宇平 女波留加
 奈加志良の類これなり 日々に食ぬのうと 北漢書に 羊人
 多し 慈々類に され 長ざら 河の中ら ずといとも 遠くば
魚鱈 乳味其く平とく なり 死病に います
魚鱈 乳味其く平とく なり 中と 温の 乳と 養心と 多食

へど湯とあり 瘡疥とと發して

魚 多知宇平 俗は白臭とあり 鯢魚となん なるに 説と

一海の二相似らるがごとく ならんとも 毒が 多知宇平ハ大

毒ありこれと合せておてらば 毒多し 食べん

魚 章魚 乳味其く鹹 毒なり 時血と養心ハ 乳と養

本草 章魚ハ 冷しと 泄さば 多し 食べん

介 多仔良本 味其く平毒なり 中滿の 去いじ

介 回羸 味其く大毒 毒なり 別目 瘧赤 痛と 活 瀉

と 珍時 瘧と 利 黃疸と 活 搗爛と 肝 貼は 瘧

とらして上行を禁は利と心あり淋閉とらるる
獸狸氣味其く平毒なり時珍温鬼毒皮の中に在り針にて
刺ぐと心ならずと治と孫思中と補ひきとを遊風とらる

胃部

穀蕎麥氣味其く平毒なり孟詵腸胃と實一氣力とまほ
精神とらる時珍氣と下り腸胃の積滯とらる白濁白帶
油刺腹痛とすれ疾と治一氣とく人よ濕熱ありもの
に宜し若脾胃虚多の者合時を大元氣と脱一孫思中
眉と落は思蕎麥ハすく微多此とらる化一班ひとく

くく風と執一頭眩とやん



穀同義蕎麥味同と下り耳目と利と

穀蠶豆氣味其く微一刺く平毒なり汪胃と快くし

五莖六腑ととのみ

津部

菜土筆氣味淡く其く冷毒なり時珍氣とりのみ

菜蓬葉氣味酸平毒なり五莖と安一積氣と考志

と強一力と倍人ふみわとまじ顔色と美くく

菜白茅氣味其く平毒なり水と下り血と破つとの腸を

通一血及の暴に下血とらと活を小兒に差わり

其諸を味其く平毒の時虚之と補ひき力とゆ

脾胃と健子腎陰と強功暮積ととる

善意落なき味其く微を毒が筋ひさうを伸す

こと徳が久病痺の宜氣と下腸胃と利水腫と消

人として徳念と進肺痿脚氣上言とら一膠とすこわ

小胃と差風濕とけり湯とやめ熱淋と利と

鳥鵲を味とすこゆ平毒の門氣力とを血き力と

を虚之と補ひ凡と去肺とを門勞弱のさうへ食物

頂血大毒わり此と飲ば之知よ死と一腦の意實よ和と

くくの同明く小毒よく細字と見せしむ

鳥同卵ま時其くま毒なり瘰癧の毒とけ

小兒わとり一牧と少て食す身の瘰癧の重のさのハ

物のさのいでさまじ

鳥班鳩を味其くま毒なり嘉貝と明の多食ハ氣

と差法湯と助け宗久病虚損の今れとらハのと

補の時のれとらハの噎とやむ

襦部

武部

菓 零餘子（陳）氣味甘くうん毒あり器（陳）虚損と補ひ腸脚と強

腎と養ひとらへば饑ふりば

果 梅實（明）氣味酸く平毒あり明多食は齒と損ひ筋と傷

脾胃と傷ふ膈に痰熱と發せば其精を服せらる人はいじ

梅と食て齒の痛とやまは胡椒の仁とかんてはり

鉄 馬牙（明）味辛く苦く冷毒あり鐵中と初へ鉄と涼氣と

下筋骨と長し腰脊と強し牙と強く健す純白牡と

食べば馬自と死せらるの食とわんと殺時馬ととらへぬ

て毒の中ものハ蘇麻の汁とれと杏仁と用て解とじ

獸 貉（明）氣味甘く温毒あり獺元氣の虚勞及女子の虚

とくつとらへると治と

宇部

穀 粳米（明）氣味甘く平毒は時血脈と通ふと和顔

色と好し赤白大小あり族と異は惟白晚米とより

すき大陰少陰經よ入る五莖と平和は胃の氣と補ひ

肌肉と長し筋骨と壯し煖湯とやめ泄痢とやめ心志と

強し腎精と養ひ肺とまじり好其實と合して粥と

あて食へる精と毒を志とつくり身と聴し眼とわきかき
 ▲関南按よ元と補の精と毒陰氣と助る者精糧
 米よ外のりふし然今人陽精と起すのと念ふことと
 貪強象鳥獸の肉とらひて元と毒と甚令と
 健るれとつとせきねきうとくはらん

五加葉を味若く平毒は明皮膚の風濕とく

同根皮を治中と補の精と毒骨と堅一志意と

強く久く服すまば身と加強し先と耐

獨活を味若く其く平毒は風寒濕痺酸痛ふに

依同掉眩頭項伸がう比と治久塊うぬへ目赤く腫
 痛小瘡のりもの用へういひてかやんとあ

魚鱧魚を味其く温毒は五苓と補の元と毒

陽と起と嘔吐吞酸不食等いむ

魚鱧魚を味其く温毒は五苓と補の元と毒

烏鷄氣味其く平毒は五苓と補の元と毒

菊骨と實の毒と暑しに結熱と解け小瘡

毒に和しては食の液劑とやむ瘰癧小瘡の瘡及ひ下痢

に五色とふいと患へる日にくらぬへ一効あり

烏鵲乳味すく寒と也冷微毒有り大脈の鼓脹と

治水道と利と腎氣を燒けて咽に魚の骨を飲

然兎骨煉辛く毒は別中と補ハ氣と多華氣

濕痺と除る湯と心脾と健に也突食ハ丹石の毒と壓

時血と涼く積毒と解一六腸と利と景兎肉ハ

わり妊婦食ぬことあり鉄唇の子と毒

獸牛乳味甘く温毒有り録中と安一乳と若肝胃と養

思腰脚と補多消渴及ハ唾涎と心陳牛煩て死する也

のと食ハ痼疾瘰癧と發一人とて洞下疰病せし

白牛と良とハ黃牛小毒有り牛食ぬことあり

獸鰓子味辛く温毒有り積て血脈行て

結子て癰疽と成と治ハ小ハ食ハ蛇虫を殺一突て食

ハ多瘰癧瘰癧陰瘡と治一冬一食ハ風と有り瘡

疥癬と治也

久那

系枸杞乳味苦く多毒ハ大煩と除ら志と毒ハ勞七

傷と補ハ心氣と壯ハ皮膚骨節の同の風と有り瘰

毒と消一瘡腫と散也權飲として茶に代きハ湯とわら

焚煩と消陽素とをりんとくと解也

胡頹子味酸と手毒陳水痢と活遺弘景

云くを焚と病をくぬへう

菅草味甘と涼毒小便赤と潤身神煩と酒

瘰癧宜と食と消濕利と和身と

目と明胸膈と利心と

常山味苦と寒毒傷寒と痰痰と吐

多食胃の毒と損瀉下と

中胃の氣と益男と用合と

人の腸男と厚飢と結毒と解金と

人宜と立腫痛と活病と消飯のれら

食血と下血崩と活孟と消心の中

寒熱の氣と活粉と

性冷いと食と

小兒秋と

黒大豆味甘と平毒食と逐男

中熱と活淋と活血と

中と濁へ氣とり一団解と通し金石の藥毒とけり炒
 てくへ痺と涼く後腹と心食と滑し目と明くは久
 く食へ髪と赤くし赤酒毒瘰癧とけり肥石とく
 乳汁と通しにけりをあり炒て瘰癧あり瘰癧生ハ平
 あり厚朴と服するものよし

果 桑椹を味其くを毒也糞消湯と作り陳五義國節
 の物と血氣と利なく食へ魂と安し神と強り目と明く
 去耳とくし白髪とく日いさじ乾くと務は西薬に
 て丸く自い食へ年とのて先時搗て汁とのめは

肉 肉中らう毒と解と酒とて飲バ水氣と利控し酒
果 同業を味其く其毒のを瘰癧と淫とせんを飲ハ脚
 牙水控と治し大小揚と利し炒て煎じ茶代へのな
 湯とやの五義と利しを酒とせんを飲ハ一切の凡
 と治しけりつを食へ風痛と涼くし瘰癧瘰癧四乾を
 うらなふにきたらかたの如く金瘡及小兒の疔瘡に生葉と
 研つくば霍亂腹痛吐下に乾りれ葉と煮て飲ハ
果 栗を味其く白く淫毒子別氣と考揚男と厚し腎と
 補ハ孫生けく食へ強脚の遂くを治し筋筋骨とく

辟子 持病瘰癧と活と生と加とてゆる効あり 諸日中に暴
 乾とて食へば氣とより補きに大なる益あり 食へば汗とより
 生とて多食へば氣と發と煮ひて炒熟而くらば氣と燻と
 爽小兒多食とあり 生は化難し 漿するは氣と清りたる
 食とてとて虫と生はゆくとに病といふ人

果 胡桃 字味甘く平毒あり 開人にとりて健はれと聞
 髪とて黒くし多食とれば小便と利し 疔と去 洗血毒と痛

潤し 骨肉細穢あり 思多食すとまは瘰癧と動し 疥
 わくありとけさ食むとくく

果 柑 字味甘く大毒あり 開腸胃の中は毒とては果
 の湯とての小便と利し 多食とて痒し 疔と生し 疥と

冷と瘰癧 大揚の厚利とあり 陰汗とともいふ
木 梔花 字味苦く寒毒あり 時顔の色とよりゆるくは

魚 鱸 字味淡く平毒あり 飲病いするに
魚 鯨 鯨字味肉其く濃小毒あり は其く平毒あり 用 関

肉は立症と利し 凡と動し 瘡疥と發し 瘰癧と生はるるに
 老化かす 瘰癧とあり 病人に差はるは立症とて

掃大揚と補い血瘰あり しのくは瘰癧ととてこれ掃

男虚弱のよりくは後痛後回とあり骨腸鏢る

魚 海蛇 乳味之やむく温毒也 陳婦人勞損積血湯下小

の良疾丹毒湯火の焼と愈と 時珍河魚の毒と消と

鳥 鵠 乳味甘く平毒也 時珍炙り食ハ氣力と益氣病と利也

鳥 竹雞 乳味甘く平毒也 野雞の毒とけり出と消也

獸 熊 乳味甘く平毒也 説虚四つと補ハ瘡痲

わく食ハくは食ハ身終まぐ除くは日後中に積聚入
移りわくは食海くく

也部

系 葛 根 味甘く温平毒也 本傷寒と活き焚邪

と深中と補ハ言カと益肌肉と長し陰と強と久

くくハ身とくく目と閉くハ身と強一年とのハ録

ハ風りまひとらまるとが指の痛とあり虚勞つまじ

せと活ハ益と充ハ力煖熱と深ハ 権力骨七傷と補ハ

風冷とくハ心神と強魂魄と安ハ心平ハ不足と補ハ

多く委とくハ元化と明 前骨とつらし精の泄とら

健忘と活ハ 時腎と益胃とすもくハ 滋劑とわ

瘡と化し皮毛と洞と

烏 瘡を味辛く煮く人々の毒は中と酒不足と補

久しと痲病冷源と血下焦の毒滯と泄し秘刺がと

くつとむと治し骨と下血とらじ治と安し赤白帯

下と治し湯と助け金瘡の敷とらし牙と瘡と白とを

冷者との瘡多く食とあれ瘡病ととむと

果 楊梅を味甘く温毒あり洗湯と正血瘡と和し楊梅

とそくし煩憤悪心と除く毒瘡下は洗く食ハ發

魚 鱒魚氣味甘く大温毒あり中と補ひらと虚損と

補ひ産後の血を流さくゆ氣血瘡らうらと治し及瘦骨

たると治し血とつら復中れ冷氣揚毒とやめ血瘡と補ひ小

児の瘡の虫と治しとつら毒あり大ありの毒あり

多くと風と動し霍乱せしめ瘡のかさむと瘡と

鳥 鸚雉を味甘く平小毒あり洗血瘡の氣喘と息と

と治し時熱うら中と補ひ氣血瘡と瘡と瘡と瘡と

くく人ともやせしむ

獸 山獺を味辛く治前肉と瘡せぬ故に此は載て山獺

蔓草其熱毒也時珍陽虛而陰痿精氣之清者以
酒之磨了少許と根と搗人用て補助の要藥とに

未部

豆黃 豆黃子味甘く濕毒は原中と寛く氣液下し大腸と

利水脹毒と消し時生ハ濕炒てハ從微毒あり多食ハ

氣液ふくじ癩と生し面黃と瘡疥ととる

殺同葉 葉味甘く冷毒は嫩ある肉と削く葉とあり

食ハハ子以下大腸と利し痔瘡の心

未天 葉氣味甘く辛く微熱毒は賊風はく口切

の歪と治一痰癆氣液く流り女子の虛勞と治

瓜 甜瓜氣味甘く辛く清小毒あり嘉湯と心煩熱と治

小便と利一二焦のろろわらる氣液潤じ口を乾かす瘡と

治と夏暑甚すと時食ハ永若守れと嘉暑暑を解

此とりの性冷ハ陽字と消積と多食ハ下痢とあり

貧者多食ハ秋の末に痢と多食ハ下痢とあり

虚羸多と心と安一病後多食ハ及男脚氣と治

水除くの多食ハ陰下照して瘡と生す景熱はく瓜

ハ熱とより食ハ瓜と食梅も多水に煮て浮と良と沉

のれを毒りる龍魚凡凡に肉たりらわりの毒毒有との
食べん人々と殺と時凡凡と食へ後に腐香と少く
すべし合鹽ありらりまことまら

果 松子 蜜味 甘く びん 毒なり 開 骨節 凡凡の 眩と 流

水 氣 成らば 立 蒸と 潤と 録 凡 痺を まと 逐 虚 羸が 氣の
不足と 補ひは 膚と 潤と 拘 佞の 風と 汗 揚 男と わた ぬ 久

く 食へ 身と 持くし 年と 延 珍 肺と 潤し 欬 嗽と たらん

果 楳 梔 氣 味 辛く 耳く び 濕 毒を 中と 温め 毒と 下し
食は 消し 心 間 酸 水と 除く 頭 胸 膈の 積 食は 成ら けり かい こと

と やめ 煩と 除く 均 水 浮 揚 虚 於 樊と 流し けと たらん
並に 生と 食て 宜し 良 樊 毒 成と じ 大 小 揚と 秘し け

らう 疥 癩と あり け 血 凝と 毒 あり 毒 あり 毒 あり 宜し け
園 松 葉 氣 味 甘く 辛 毒あり 陳 仁 玉 ぐ 云 洩 濁て 毒 あり

あつ 紙 たらん 又 云 凡 物 松より ころり め あり 毒あり
魚 魴 魚 蜜 味 甘く 温 毒あり 誑 男 け 毒 あり 之 五 蒸と 利

芥子 にく 和て 食へ 掃 氣と 初 け 胃 風と 毒 あり こと せう け
能い 食へ 脾 氣と 毒 あり 能 食 成と じ び け ころり 人

人 毒 あり 毒 あり 毒 あり 毒 あり 毒 あり 毒 あり 毒 あり 毒 あり

金魚の身と皮は、老若而年とのふ、別水氣と去小便と利と、
權中と潤へ五淋と治し、後現瘰癧ののじぶらばとらへぬ或る
派は研てのめは甚効なり

魚鱗其の味苦く平毒は痔瘡にいたる同く薑氣味
る治もふ死のうれよかりしと云

果佛手柑其の味辛くすし毒は氣と心以瘰癧と
除く時酒に之を飲ば瘰癧をのみまうと治し湯に之を
のめは心下の氣病と治る

魚鱗其の味其く滋毒は中と潤へすは下し虚と補ふ

陳五味は、丹胃氣と治し、丹胃氣と治し、丹胃氣と治し、
と實一多食と火と動と同一時研て飲ば下痢と
治る張中気と潤へ肝をよとす

魚布里其の味酸毒あり開按に肝と利し血氣補ふ中
濁脾胃衰するの食しとあり

魚布加乳味其く酸く毒は開按に病入にじじ開と
志これとのりて開中満とくあり

魚鱗魚其の味其く温大毒あり開虚氣補ひ温氣と去

舌部

穀 小麦言味甚く微多味穀小麥秋種て夏熟と四
 時のきとうけたる氣て氣熱濕源あり故は麥の源麩ハ
 濕熱ハ源麩ハ熱大その宜は然べし時新麥ハ熱陳麥ハ平和
 割肝氣と養ひ思孫心氣と養ぬ煩とのどる渴とやめ汗
 と收め小便と利血滿とやめ

穀 胡麻言味甚く平毒華中と補ひ言とを立穀と
 潤肺言と補ひ心氣とやり大小腸と利寒と暑と
 には風濕氣のゆう風吹凡と逐骨を養ぬの羸困と

治と生と備め肥と落と時時獲東坡の程正補にわらぬ言云
 凡疔疾と治するよ酒と因敷と治と情熱と甘の厚味及ひ
 たら米穀とはいへし唯宜治めん一味成らしひ及ひ九皮
 けれ胡麻と合ふべし九葉明麻の法黑胡麻の皮と合り
 茯苓と同く白蜜と入九うひひばにめんと合らぬ
 日久らく面氣力衰ど百病との引らる疔漸らるく
畜 牛黃言味甚く毒は積牙齒の痛骨瘰癧風脚
 弱く風毒癰疽欬嗽肺塞癩癧冷毒と治と常にくふ
 て使と治日食いらりゆめに合交するとんて精ととる

すまじりかた

胡椒 氣味辛く大温毒の唐中と治め瘡と去膿肺
の中凡と治し明立瘡と相入腎氣を壯は冷痢と治し
切梨肉鹽葷の類と殺し時腸胃と腹を温反男
とよてう冷積瘕毒と除く李多食ハ肺と損じ吐血と
た珍時自然と向一瘡液とらむ

昆布 氣味辛く平毒也別十二種の水瘰癧
瘰癧結氣瘰癧と治し器陰瘰癧と治し昆布と治し
合けと飲權水と利一西行とともと瘰癧とらむ

吳鯉 氣味辛く平毒也別十二種の水瘰癧
行及治氣のほしと治し時瘰癧と治し
小紋と利し器輪と向と温補冷氣瘰癧氣塊とらむ
乾欬喘促と治し時燒粉にしてのめは汗と乾し乳汁と
下し瘰癧と治し未散とらむ大人小兒のほし
にもらるるばと治し瘰癧にひし瘰癧而瘰癧すま反男反男
同反に入と治し門反に瘰癧わりのめに忘同膳磁目赤と
瘰癧と治しすまの瘰癧に片瘰癧とすし和してつまはめ

養生中

九

同指明大小兒食之驚悸怔忡と治之同腦髓蘇法病と
 治之啖粥にまじへる暴にみうぐと治之珍もと等分
 に研和同骨に熱まき青旨とらに同血蘇小兒の火瘡
 丹瘡瘡毒に塗ばらとらに瘡同湯蘇小兒の肌瘡と
 治之時耳にひりあつた船同掲爛か一帛ひつこあつたは
 痔漏虫のあつたるを熱帛ひつこ此に坐せてひら
 さい瘡同目陳刺瘡傷風傷水治とかには燒灰にて傳うけら
 て脚のや同齒鋸石淋と治之同骨蘇別女子の赤白帶下
 と治之蘇陰瘡魚の骨鱗といくこと治之同皮蘇

瘡疹に燒灰もして水をて扱てスとい點す魚の骨喉
 たらして六七日もしてさうに燒灰もして水をて扱てスとい度をくくとい也
 同鱗蘇産婦の滯血を後つじも燒灰もして酒をてうけ
 又血を治す時珍燒灰もして酒をてうけす吐血崩中漏下赤白帶
 下痔瘻魚鱗をと治之
 鱗蘇氣味わはく淡一毒は開按に伝病にいはす
 鱗蘇氣味わはく温毒あり胃を温食とす心開按に燒て
 尸臭をあり毒をあり食べるに
 鱗蘇氣味わまく平ごくあ腎を補ふ

安部

氣 雲いん 毒どく 寒かん 毒どく 微い 寒かん 毒どく 別べつ 腎じん と 養い ひ 胃い 中ちゆう 熱ねつ と ころ
時とき 反はん 胃い 換かん 劑じ と 治ち 一いつ 粥じやく 一いつ 丹たん 田でん と 一いつ 虚きょ 損そん と 補ほ
ひ 揚ちやう 胃い と ひ 一いつ く

赤あか 小せう 豆とう 氣き 味あじ 赤あか 小せう 豆とう 氣き 味あじ 赤あか 小せう 豆とう 氣き 味あじ
赤あか 心しん の 穀こく 一いつ 其その 性せい 下げ 治ち 一いつ 小せう 揚ちやう 一いつ 通つう 一いつ 能のう 陰いん 分ぶん 一いつ 有ゆう 形けい
病びやう と 治ち 一いつ 津しん 液えき 一いつ 小せう 便べん と 利り 一いつ 脹ちやう 滿まん と 消しょう 一いつ 除じよ 一いつ 吐と 逆ぎやく と やり 下げ 痢り 揚ちやう 瀉げ と 治ち 一いつ 解げ 一いつ 寒かん 熱ねつ 大だい 難なん

士し 良りやう 一いつ 人にん と 瘦しゆ 一いつ 心しん
穀こく 同どう 葉えつ 錄りやく 煩ぼん 焚ふん と 一いつ 小せう 便べん の 一いつ 治ち 一いつ 日にち 者しや 一いつ 心しん
目め と 明めい 一いつ 心しん

州しゆう 胡こ 葱そう 氣き 味あじ 辛しん 一いつ 温いん 毒どく 一いつ 誅しゆう 中ちゆう と 温いん め 氣き と 一いつ 殺ころ 一いつ 消しょう
す 能のう 食じき 一いつ 蟲ちゆう と 殺ころ 一いつ 五ご 穀こく の 不ふ 足そく 一いつ 氣き 一いつ 利り 一いつ 誅しゆう 一いつ 心しん
食じき 一いつ 神しん と 傷きゆう 一いつ 性せい と 損そん 一いつ 多た 一いつ 物ぶつ 一いつ 忘わす 一いつ 目め 一いつ 明めい と 損そん 一いつ 血けつ 一いつ 脈みやく と

絶けつ 一いつ 痼こ 疾じき と 殺ころ 一いつ 心しん 一いつ 齒し の 一いつ 甚しん 一いつ 心しん
州しゆう 藜り 氣き 味あじ 一いつ 平へい 毒どく 一いつ 潤じゆん 肝かん 胃い 虚きょ 寒かん 一いつ 心しん 一いつ 宜い 一いつ 心しん

口くち 一いつ 心しん

かび去用脾胃の執人とする虚冷ははるる

州大薊子味甘温毒あり女子の赤白帶下胎と安くし

吐血鼻血とやめんと肥し揚癰瘰癧の瘰血と治す

通州子味甘寒毒正脾胃の熱と除く血脈と通す

利一濁とやめ目と明し胎衣と下し女子の月水の滞らば

子と通し喉痺といや積聚とやめ

州麻仁子味甘平毒正本中と補いきときくく食

おんと犯し健に老る次神仙あり別録中風のせつららと

治し水子と去し便と利し積血とやめりかきとわし長

く良五藏と潤し大腸風熱結燥及び痰淋と治す

日虚勞と補い一切の風毒と逐らるると通し消渴と

やめ催生にいし良多食へる血脈と損し陽氣と心

婦人多食ハ下と殺す

州千歳子味甘平毒あり別録五藏と補いきと色

筋骨と續筋の痺症と去くく服すきば身と壯し先ず

瓜青瓜子味甘冷毒あり水瀉とさる中と和し湯と

心後病よいむ

菓杏クワシ味すす換小毒クワシの思孫心の病病に用用べべ別別生生じて多多
 飲飲筋骨筋骨と傷傷るる鯨鯨小兒小兒多食多食るる瘡癰瘡癰膿膿漿漿といいすす原原
 多食多食ハ痰痰熱熱と生生じ精神精神とくくはは一一産婦産婦にに心心ををいいじじ
 州州海海苔苔乳乳味味とと同同くく毒毒はは生生とと催催めめ婦婦人の病病と治治
 及及ひひ凡凡といいやや水水と下下んん珍珍水水病病癭癭瘤瘤と治治と功功海藻海藻と同同
 州州神神仙仙菜菜まま味味主主治治若若和和布布の下下ににつつままびびららななりり
 州州乾乾苔苔まま味味とと同同くく寒寒毒毒はは説説痔痔と治治蟲蟲と殺殺一一霍霍
 吐吐に煮煮ててけけと扱扱すす瑞瑞茶茶積積と消消すす珍珍夷夷堅堅志志に癭癭瘤瘤
 と治治すす説説多食多食ハ瘡瘡疥疥と発発しし人人の血血色色ををくくじじ喘喘嗽嗽

すす人人食食ととありあり
 介介鰾鰾まま味味甘甘くくとと同同くく毒毒はは同同按按に精精と益益身身と癭癭
 目目と明明にに也也病病ににいいままるる
 介介蚶蚶まま味味甘甘くくとと同同くく毒毒はは別別瘵瘵痺痺洩洩痢痢小小便便に膿膿血血ととああ
 主主張張五五蔵蔵と潤潤し消渴消渴ととめめららすすひひちちちちと利利丹丹
 石石と扱扱すす人人食食ハ瘵瘵疔疔のの毒毒と生生ずずと免免るる陳陳心心
 腹腹の冷冷氣氣衝衝脊脊の冷冷風風五五疔疔とすすここややりり煎煎中中と温温めめ合合とせせ
 じじ陽陽と起起すす珍珍按按に剉剉珣珣がが云云くくああららううくく人人のの毒毒ありあり
 過過りりくくくく人人のの氣氣はは云云くく

魚鱗 氣味淡く毒を閉按は諸病にいた然ども

すじとあう又膏の重故に生ハ幾寸古久知左与利等に劣り

魚鱗魚 氣味甘く温毒を珍煮てらへる憂とやめ胃とわ

たぐめ冷くくろ代活す

魚鯨 氣味甘く温毒は珍胃とのり中と和と飛能く

へが後の瘡とせん

魚鱗 氣味甘く平毒は開按に立瘡と毒を

魚鰲 氣味甘く冷すじ毒のるを刺虚は油油の容熱と除く

提撥及ひ水道と和ハ小兒驚癇といやん丹毒瘰癧と

治す時 青頭ハ雄と用べ

鳥同所 氣味甘く毒をも微多毒は華心振拘痛の勢を

治す時 毒に蒸とて食ハ小兒の泄痢と治す塩とて炒て

くくハ血痢と治す 誂多食ハ冷毒と奈し人とくく氣ハ

ちのり 背胸せむ小兒多くハわとよハくは

鳥鳩 氣味甘く毒をもくま毒は珍炙りて食ハ花の臭

蟹の毒と解す

左部

穀豆 氣味甘く毒をもくま毒は珍中と和り毒を解す

長生口

口十口

と補ひ買収をこらひ五志と和し管衛を固く精髓と生し消
渴吐逆泄痢小便の多きりある疾をの鼠毒と解す

叫草 辛く滑小毒の重鋸揚胃と實し乳ふと犯し
口はさめかかす明宿血は破り死にたかたなり魚肉に

和とくくばさばさ中法と共虚は補ふ陳産婦とくか
血はあつ宗多食へ花かじき食らこわじ揮と困し心

按ふ其味酸と性冷揮腎虚するものくぬとあつ
一 同魁氣味辛と同毒のや

同葉味辛く冷清毒也明煩とのをれとらりと心妊婦

心煩は作向りの同動と治し南換ふ者其熱とくくハ書さ

一生者其のまはるくふして咽とやなり血は吐しむ

果安石榴子味甘く酸温毒の咽の渴とめめしと殺

多食ハ肺と多食也誥多食ハ齒と損ドらるは凡そ

薬後後するんよむ

果君遷子氣味甘くさつるま毒なり消渴煩熱とやめ心と

鎖め机と潤く久くくくは顔色とくしんとすもやんは

果椒紅身味辛く温毒のり邪を欬逆中気温骨節度

膚寒熱の瘰癧痛と治く久く後すま髪とくゆり

八之生

八之生

魚鮫魚イサナ味甘く辛く有毒の誑誑鱠鱠とあり五穀と補功功

に亞アまらぬ鮫と作て食ふ獲獲甚人甚人を毒あり

鳥鷲シウ味甘く辛く有毒の頰頰虚虚して瘦瘦うと活活脾脾

善善き以以補補ふ臭臭熱熱してとくとく也也

獸狝猴センコウ味甘く辛く有毒は慎慎法の風勞風勞に酒酒より色色を味味佳佳

なり捕捕とあり食食ふ久久くおらと活活は時時瘡瘡疫疫と辟辟

幾部

穀稷シホ味甘く寒寒毒あり別別を以以補補ふ不足不足と補補ふ心心腎腎と

作作てとくハ水水と安安し胃胃は利利し脾脾ははもるもる血血は涼涼くし

暑暑と解解は真真稷稷ハ脾脾の穀穀あり脾脾病病に用用へ

艸菊花キカ葉葉味甘く辛く有毒の經經法法風頭眩風頭眩をれつこ目目ぬく

ゆくとく痰痰とらじ抗抗は潤潤め血血風濕風濕と活活えく根根すきな

血氣血氣と利利し身身と物物老老は耐耐年年反反壽壽一一花花湯湯煮煮して食食ふ

系系る美美味味はとくらぬて佳佳あり

瓜胡瓜コウカ味甘く辛く寒寒小毒あり原原熱熱と清清湯湯と解解水道水道

と利利し誑誑多多食食る寒寒熱熱と動動するしと一一瘰瘰癧癧積積痰痰熱熱症症

氣氣と養養し人とく虚虚熱熱と逆逆少少毒毒せし陰陰血血と損損ト瘡瘡

疥疥御御毒毒虚虚符符とあり百病百病天行天行癘癘乃乃後後よりぬへくは小

鳥 雉 氣味すく 微毒 毒は 別中と 補ひ 氣力と 益々うは
ら 瓜やめ 蟻瘻とのぞく

獸 狐 氣味 甚く 温毒なり 誑 莫炙てくく 虚損と 補ふ 及び
五毒の 邪氣 盡く 寒熱と うきうき の多食 煖 鱸と 子
生に 食ふ 中と わたしめ 瓜 瓜と りきよ 勞と 補ふ

由女美部

瓜 壺 氣味 辛く 平なり 毒は 明煩と 除く 心熱と 治す
小便と 通し 心 柿 石淋と 治す 蕪 多食 吐痢と 子
ことし 鵝 御氣と ころろ 冷毒と 痛りの 食ふ 永治せし

果 柚 氣味 辛く 毒は 明食 痰消し 酒毒と 解 潤気 飲
人の 口氣とのぞく 楊梅の中 代 無氣 瓜と りきよ 瓜ん 瓜
食 瓜 思ふと ころろ 瓜 瓜と 治す

州 藜 荷 氣味 辛く 温小毒 疔の 瘡と 解し 又 沙 虫 蛇の 毒
と 解し 瓜 多食 瓜 藥力と 損し 御 弱く 志 瓜 同 藜 草

氣味 苦く 其く 毒は 温 瘰 寒 熱 邪 毒と ころろ 不 祥と 辟
瓜 實 氣味 辛く 平なり 毒は 本 瓜 瓜 瘰 瘰 瘰 瘰 の の こ

活 中と 補ひ 暴に 疔と 除く 精氣と 補 志と 強 瓜 瓜と
聰 目と 明く 瓜 瓜と ころろ 瓜 瓜と 補し 光に 瓜 瓜と 神 仙

瓜 瓜と 補し 瓜 瓜と 補し 瓜 瓜と 補し 瓜 瓜と 補し 瓜 瓜と 補し

あり日華買代用乳液たきく時湯とやめ腎とを小後とより
に白湯遺精帯下と治と景小兒多々へば長あはれ
生いく多々へる風冷の乳液動で宗多々へば抑胃
考あすすて消化しごと

美豆波世利 毒あり 開接の症病に忌む

果橘 毒味耳く 酸毒あり 陳其さのの柿と潤し酸のものは

痰と聚む 明消渴とやめ胃液ひきき 胸中に氣の隔ると
除く源多々へ痛にほきて痰とせし抑氣と清らん

海松 毒味も活若和布の下につぬひらつかん

淡菜 毒味耳く 過毒あり 陳虚勞や勢つり身精血衰か

く及ひ吐血之痢腸鳴痛と治と 誣産後の血むじやき後
の中冷つて瘰癧と治ももささるか 崩中帯下

治と 華煎熟とく食ハハと補ひ陽とと 差抑御氣と
治し宿食及消と 華多食ハハ頭目眩周と 陳多食ハハ

丹石と発し揚結せしめくくかんと脱す

志部

紫蘗 毒味辛く 温毒は別氣と下し寒中と除 華中
と補ひ氣は羞心後独治と治 霍乱ふらぐりとのめ

胃液開き食液止し御乳とやめ大小腸と通ず時和と解
風寒とらし中と寛し瘕と消し抑と利し血気和中と温
にめいことやめ喘と安し胎成やすんじ魚蟹の毒は解

△同子能毒ハ養と同一と云とも良

州 慈姑氣味苦く甘く辛く毒の産後血心へせり死す
んとし及難産抱衣とくくさるに搗りけと飲又石淋と治す

△大食食ハばさよ熱及ひ揚風痔漏崩中帯下瘡瘡と治す
生姜と同く煮て佳なり妊婦は食んん幸ありれ誦

常にハ御守瘰癧風と養し歯とそんじ顔色と血

忘皮肉とかりつー乾嘔と云

瓜 越瓜氣味甘く辛く毒開場胃と利し煩渴とやめ陳小夜

と利し中と冷し一乳液動し心痛肺下の癥瘕瘰癧とら
多し又小兒に煮つけ天行病の後らよとあり

果 鉤栗氣味甘く辛く毒の腸胃とありと人を把れ
とらふ人とし能くあり

肉 推葦氣味甘く温毒の腸胃と厚し人皮とやれ
多し人ば守成均とせむとせむ

菌 菌氣味甘く温毒あり心をつまみ治し中と温長

出癥瘕 依虫無瘵より後中ひつこく白朮と治す

卍 專菜氣味甘く温毒あり消渴狂痺と治し脾胃厚

下焦と安し水と逐る百毒の毒草より出氣以解と美じ

てくくば氣味くど吐とやむ熱と多くく氣味く

く齒及び靨色毛くくと損ぎすはくくく痛後く

介 志々美氣味甘く温毒あり脾胃厚と治す

多食しゆのき今志々美く小便と利し濕と除とすその依

魚 鯉氣味甘く温毒あり脾胃厚と治す

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

魚 鱒氣味甘く温毒あり脾胃厚と治す

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

鳥 鵲氣味甘く温毒あり脾胃厚と治す

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

穀 豌豆氣味甘く温毒あり脾胃厚と治す

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

魚鱗 味其く手毒也開 按ふ法病にまじらば然らざる其く
其く中人の中腹吐嘔吞酸及び婦人の血逆産後小腹痛の法

魚鱗 味其く手毒也開 按ふ法病にまじらば然らざる其く
忌壺隱菴の福田方に温

魚鱗 味其く温小毒のり珍時 ありあつたとき多く食ふ瘧疾を
治し瘧疾を托ひ乳汁と酢湯とを合し煮汁と飲め風痰
と吐と虫瘻よりれえらして搗てば別 録髪あり後のまじ
果りのゆくりら白くよの合ふくば盂 水田及び溝渠に生

すりの毒のり張 風痰動し瘧疾冷積とくゆゆ

比部

菽 移子味其く温毒は中と補ひ乳痰を揚胃とあ
ゆし鉉とたゆ

州 葱子味其く平毒は中人根 ひげは平毒は本 傷寒
中凡面目浮腫治と治と別 候瘧疾と安し目の精痰海

肝邪 除中と安し五五と行し百毒の毒と解と大 天の
時疾頭痛瘧疾狂霍亂轉筋及び御氣心後痛目眩と治

盂 節と通し鼻血とやめ大小便と利と時 風濕ゆく

州水雲 氣味辛温 心もく 毒也 開梅は多食うべ

果桃 氣味辛く 酸甘く 熱微毒あり 孫師乃果也 師の

病 用へし 孫 黃帝書に生桃と多食して水気あふまば

人とと淋及ひしを熱の病候なり 時珍 多食して小衝脹及び癰

癰と生に損あつて毒あり

臭毛 宇於 氣味淡く 平毒也 開接は後病にま

世部

州芥 氣味辛く 平毒あり 經女子の赤帯下血と此精液

養ひ 血脈と保き 痰者人とするときは肥し 食後せむ 陳

汁のありは小兒の暴熱 大人の酒後の痰鼻 さらり身熱

すから治す 以かり 風熱とさらり 大小腸と利し 口齒と利し

▲赤芥は人痰害とさらり ぬべうべ

州薇 氣味辛く 平毒あり 陳 芥は 食は中と潤し 大小腸

と利し 珣水道と利し 浮腫と消し 大腸と潤し ▲按に狗

脊と以て 世年 麻比とす さらは赤あり

菌 松露 氣味辛く 治松茸と同し

魚鱈 氣味平毒あり 後病にいま

可部

艸 馬齒莧 氣味酸寒 毒あり 後の瘡の癢と治す 滑り

川とわめ湯と犯し 女子の赤白帶下と治す けと飲之

反胃と治す 朝水銀あり 婦人 妊婦 腹へうけ

瓜 西瓜 氣味甘く 涼しく 多量毒あり 煩と消し 渴とやめ

暑熱と解し 源中と寛し 氣を下し 夜と利し 血痢と

治し 酒毒と解し 震けと飲は 口のそとと治す 瑞多食

へぞ吐痢 胃より 吐れり ぬるぬる ぬへうけ

果 李子 氣味苦く 酸く 微温 毒あり 別中と相ふ 思行し 瘡の

けりの食ふ 盥水とわび 食ふ 瘡を ぬると やむ 珍水

涼ハ毒あり 食ふ 大 明多くと ば 後 独ると 焚と ぬ

魚 鱈 氣味甘く 平 毒あり 腹に 疔病に いたん 常食

あり 可なり

甲 鼈 氣味甘く 平 毒あり 氣液を 陰とく と 補ひ 濕痺

腰痛 御氣 漏下と 治し 血熱と ころ

鳥 雀 氣味甘く 温 毒あり 華陽 素とく といふ と 益 擗 擦と

暖り 小便とら ぬ 益 崩 帯下と 治し 孟 精 髓と 申し 立 益の

不足と 補ふ

鳥 同卵 氣味すく 温 毒と 別 五月に ころ へ 氣と 下し 男子 此

陰痿ておこらざるはつゝし精多て子わじむ
 獸水牛、羊、豚、其、別毒なき、録消渴と治し中と安
 一、乳、瓜、椰、陳器、補ひうらんはす
 やうふ、筋骨とく、くし水、得と消し、濕氣と除く

日用食性和解大全中巻終

日用食性和解大全下

水類

水井切 千里水同 秋露同 臘雪水同 寒泉水同
 冬霜水同 節氣水同 温湯同 熱湯同 生熱湯同
 醜氣水同 炊湯水同 洗兒湯同 地漿水同

酒類

酒三 春酒四 豆酒同 屠蘇酒同 苜蓿酒同
 薑精酒五 地黃酒同 菊花酒同 枸杞酒同 五加酒同
 天門久酒同 茴香酒 豆淋酒同 薯蕷酒同 葡萄酒同

桑椹酒 六丁 牛蒡酒 同
 練酒 六丁 其酒 同
 煎酒 同
 薑酒 同
 燒酒 同
 微淋酒 同

粥類
 糲粥 同
 粳粥 同
 蓮子粥 同
 芋粥 同
 薯蕷粥 同

艾實粥 七丁 枸杞粥 同
 御子粥 七丁 粟子粥 同
 蓮子粥 同
 菜菔粥 同
 明羅粥 同

葱豉粥 八丁 赤豆粥 同
 綠豆粥 同
 薏仁粥 同
 葦菜粥 同
 葦菜粥 同

飲食類
 一度飯 同
 赤豆飯 同
 雞飯 同
 菁飯 同

海飯 八丁 茶漬飯 同
 煮餅 九丁 炙餅 同
 奈良飯 九丁 餅 同
 赤豆餅 同

黍餅 九丁 艾餅 同
 牡丹餅 十丁 水餅 同
 拾頭 同
 粟餅 同

強飯 十丁 粽 同
 蕎麥切 同
 斬麥 同
 索麩 同

麥粉熬 十丁 麩筋 同
 大麥麩 十丁 小麥麩 同
 蒸花 同

炒米 同 道明寺 同
 香煎 同
 淡豉 同
 米麩 同
 酒糟 同

麵 十三丁 批酥醪 同
 胡椒油 同
 豆腐 同
 醬油 同

葛粉 十四丁 蕨根粉 同
 沙糖 同
 冰沙糖 同
 紫糖 同

食下
目二

饴糖 十五
食鹽 同
薺菜 同
石花菜 同
白柳 十六

烏柳 十六
柳糕 同

果子糕類

饅頭 十六
羊羹 同

笹餅 同
鶴餅 同

輪餅 同
煎餅 同

貞米 十七
水卒 十八

昆餅糖 十六
蜜糖漬 同

野菜干物類

末肥 同

白雪餅 同

卷煎餅 同

沙糖櫃 同

外郎餅 同

筭餅 十七

松綠 同

沙糖豆 同

鯨魚 十七

落鴈 同

藤實 同

阿餅糖 同

干大根 十八
干燕 十九

干瓜 同

寒曝菜 同

干菜 同

干松茸 同

蕈葉 同

干椎茸 同

干粟 同

干飯 同

鮑魚類

干網 二十

干網 二十

干網 二十

加豆手節 二十一

醃魚類

干網 二十

干網 二十

烏流魚 二十一

唐墨 二十一

干網 二十

干網 二十

熬海鼠 二十一

唐墨 二十一

干網 二十

加豆乃古 二十一

串燒 二十一

唐墨 二十一

食生下
目三

鹽鋼 九二

鹽鱒 同

鹽魴 九三

鹽魴 同

鹽鯉 九二

鹽鱈 同

鹽鱈 同

鹽鱈 同

鹽鱈 同

鹽鱈 同

鹽鱈 同

刺鱈 同

月魚 同

鹽鱈 同

炒鱈 九三

海糖魚 九三

鹽地 同

醋時 同

鹽鱈 同

鹽鴈 同

鹽鴨 九三

鹽漬魚類

鮑鱈 九三

鮑鱈 同

魚脂 九三

鱈鮓類

魚鮓 九四

菌類

禾白草 九五

小鳥類

小鳥 九五

金銀鍍墨類

金 九五

鍍醬

燕脂 九六

百州霜 九六

同

同

醜氣水 凍器凍るものをうけざるして頂髪と俗俗へこそ長し
よく固固く又小兒小兒の頭と朝朝々に梳梳てあつたを益益は
炊湯水 凍夜宿凍夜宿のつくばり湯を面面と洗洗は顔顔は潤潤色
かじしし身身とわくを疥癬疥癬とあは

洗見湯 細胞細胞交交りくらぶらに一盞一盞と月月の産婦産婦は智智
地漿水 芋味芋味を毒毒は地地塊塊となりて其中其中へあつて入
のこ湯のこ湯とて月月の中中毒毒へ煩悶煩悶及及依依の菌菌は毒毒と解解と

酒類

酒 芋味芋味を毒毒は地地塊塊となりて其中其中へあつて入
邪邪を毒毒は殺殺し 凍器凍るものと通通し腸胃腸胃と厚厚し皮膚皮膚と潤潤
三温三温を毒毒とらじ憂憂と消消し怒怒と棄棄し言言は宣宣言言の暢暢
益益脾氣脾氣と養養ひ肝肝と物物け凡凡とのそら乳乳は乳乳の機機病病龍龍の
を飲飲しすくは時時を腸腸とくさくも胃胃は爛爛し髓髓と漬漬し
筋筋は蒸蒸神神ともふり壽壽と損損は珍珍酒酒は夫夫の美美祿祿ありらん
と食食とさ酒酒が飲飲へ一一血血は和和し膏膏はめらと神神を壯壯に
を薬薬移移は消消し興興とりのふぬのじ時時は神神と傷傷り血血と
耗耗し男男は損損精精と亡亡瘡瘡と生生方方と動動を冷冷酒酒より熱熱と

虚冷の人には宜うは煖酒之常に少煖て用てらるる
物うんやれは肺氣成やうり目成損也

春酒清明。造は酒より常にうくまをば人と肥しと
白は新酒成のうは肝字成動し頭眩とあせ

老酒十二月造は酒より又三年以上の酒成は血成や
らる氣成やいかい胃成のうりまをうく切也

屠蘇酒正月三朝はこれ成取れは天行疫癘一切乃
不正の氣成く

菖蒲酒風痺と治しおむねの痺と治し血行と通し

久く後とれば身成くく目とわさくは

黃精酒 筋骨と強くし精髓と蒼白髪とくくし百

病と治より功多し

地黄酒 虚弱と補量し筋骨と壯し血脈と通し

くくはつとやあつと白とくは

菊花酒 頭風と治し身とくく目とわさくは

乃痿痺とくく自病と清し

枸杞酒 虚弱と補し精氣と油陽事とくく人冷

風とくく酒と止り腰わくくすくやうは

五加酒 風濕とさうり一乳のみまじりてさうり酒貴は
さうり酒 精髓とさうり酒

天門酒 五疰と風血癢と和げ久く服せれば五骨
七傷悪さ疾と治す

茴香酒 卒に腎乳つて畢丸備墜つて或ハ牽り心接
のつては治す

豆淋酒 血気やさうり風とさうり中風とさうり陰毒とさうり
乃つて尿血及産後一切中風の症病と治す

葛藜酒 然乃風とさうり眩暈と治す 精髓と酒一貯

胃とさうり酒

葡萄酒 腸腎気あつて顔とさうり赤くさうり

疾の疾い身に瘡疹あつての飲とさうり

桑椹酒 五疰と補い身気とさうり自然明い水腫と

治す

牛蒡酒 風毒と治す一にめれつては治す

蕪酒 久く飲ば身とさうり目とあつては治す

とすこやうに

薑酒 偏身中風中惡心腹の冷痛と治す

微淋酒 潤腎とありこの氣は中とゆるく

練酒 中と和し氣力を補い男は暖む白酒とあり

其酒 氣はよく湯で飲べり多飲は虫とせし

煎酒 脾胃と養ひ氣は中し皮膚と潤し眼病

病産はこれ

燒酒 氣味辛く甘し大熱毒あり時冷積を氣と消

濕痰と燥らるる酒と用お酒とやめ霍乱瘧疾噎膈心腹冷

痛陰毒を死せんとするを治し此と殺瘡と瘰癧と利

大便とせし目れ赤く腫れしと洗てみる

多のものは男成やより瘡とやめ

粥類

養飯 男成をさしよはる者も破るゆをよしはに合

消 熱くはく酒とやめ煩このぞく

糯米 赤粥 寒を補い脾胃のこころん泄痢吐

逆小兒乃めらるるを治す

梗粥 粟粥 小使と利しれとせ脾胃をや

芋粥 葛着類粥 芡實粥 枸杞粥 蓮子粥 菜腹粥 胡蘿粥 御子粥 粟子粥

腸胃とゆわくし人とあらはに
腎精と補ひてうわをうらは
精氣とつくし耳とよく目と明らるるに
精血と補益し腎氣とゆは
脾胃と潤和しくさくさく
命を冠化し痛と利は
中とゆわくし乳とくは
及男のちらし大腸と利は
腎氣と補ひし一のりとつらに

生姜粥 薺菜粥 韭菜粥 菊心粥 赤豆粥 綠豆粥 蒼仁粥

中とゆわくし悪氣のそく
伏候とより大小腸と利は
中とゆわくし下焦とわらむ
汗と糸しとくしと解は
小便と通し水腫とせし疫疾とのぞ
痰毒とけしとくしとわし
濕病と治し腸胃と利は

飯餅麩類

飯食時 飯食 飯穀とるつくがし其各米代はよはて用は

二度食 虚と徇の中とゆるし五苓と安氣血と徇
赤豆食 氣をまじ中とゆるし煩熱とよりを瘧と除す

大小腸と利す

鷄食 中と徇の氣を和し陽氣と助て下元と養ひ

風濕とのぞく

菁食 氣と下し食と消し氣血と通し腸胃と利す

病入小腸とゆるし

淘食 氣を和し中と和し腸胃の積を去る

茶漬食 氣と下し食と消し積熱と解し小便と利す

△虚冷の者よりゆるしうはゆるしは痰と生す

奈良茶 氣を和し食と進しひん利し大小腸と利す

く食を瘧と生男と徇しやうとゆるし病入小腸と

餅 中と徇の氣を和し腸胃と和し大小腸と利す

下元とゆるし小便とゆるし

赤豆餅 氣を和し男を和しゆるしはを熱とゆるし

はと下に温りし食を冷ゆるし男を和し食

煮餅 中と徇の氣を和し小便と利す

中と徇の氣を和し小便と利す

病人のいひしつとも其病のほて用ひ

炙餅 揚胃と和し 乳飲を煮し 大小便とせし 食

おろはるるもの 喉痺と煮し 中と損と病人のいひ

片餅 水氣を利し 脾胃をやすし 此痛丹に下り

くるもの 宜病人のいひ 炙餅の湯をひきとせ 軟

氷餅 痰病のいひ 攤天よりし 製

栗餅 勢と下り 中と和し 揚胃と和し 陰を補ふ

黍餅 中と和し 乳飲を煮し 炙餅と風濕を

艾餅 さらさらとせし 揚胃と和し 乳飲を煮し 風濕を

ちり 乳飲を煮し

牡丹餅 中と和し 下焦と和し 脾胃をやすし

拈餅 炙餅と和し 脾胃をやすし 大小便と煮し

捻頭 中と和し 乳飲を煮し 大小便と利し

強飯 中と和し 炙餅を煮し 乳飲を煮し 泄と和し

揚と煮し 炙餅と和し 血積を行き 痰病のいひ 炙餅と

赤飯 炙餅と和し 同

乳飲を煮し 煩渴とせし 炙餅と頭痛と治す

蕎麥切 同 鍊餅 炙餅の蕎麥の下に詳あり

斬交 言味甚く人微敷らるるに刺せし清し燻とほぼこ
や枯らば器虚と猶ふく殺すは人の膚疥と寒し
揚男とらるるし氣力とらるるに花乳はわらふいふ之と猶
索麩 揚とわらふし乳と同く食ふと寒しとあり 凡氣と
動し温病とあり
交粉熬 氣味甚く平毒あり 開按に中と補ひ氣練と
向し立差と和し 經絡と刺し下痢と治し中満乃人
及小兒の疳疔よりくぬしあり
麩筋 氣味甘く冷毒あり 時熱と解し芳換の令ふ

煮用 中とゆるし氣味甚く開按に中と補ひ氣練と
よ亦くは養と枯らば或は或はわらふ炒るなり
大交麩 氣味甚く平毒あり 蘇田と平に
湯といふを消し脹満といふは良小麥の麩より勝たり
小交麩 氣味甚く温微毒あり 華とやいふ不
そくと猶ひ立差とたどく
異化 字味あましく温毒あり 食食して拘攣に痛ふとの
性浮くよあるゆへあり病小兒のいふなり
炒米 胃と清し寒とゆるるるに六湯と生し津と

養生下

かこんん

道明寺

まよと毒海綿の毒とより大小便と利と

香煎

氣以下一腸胃と利一渴と病小兒に忌

未麴

手味其くうん毒ありわ疾ひくく食と消一痢

とやめ小兒の食痢と治一中と潤へくうん心痛家疼

と治一めくゆりと破る煩とのぞきくうんよと病ひ治とおとに

酒糟を味其く辛く毒は解蘇茶の云く中とわた

り食は消し冷きと除る腥る香を殺一竹葉の毒と

はりいふと潤一五毒六腑と調ふ

酥醴

手味其くもほも一潤法の魚乃毒と解一腸の

と和一五毒六腑のふくくと病

糝味噌

氣味其く平毒は南按よいのさし而濕疼

多く水後泄瀉等の病人は臭とそと捨てぬうこそと用

ば一甚多ありしけ人の知らるあり致ともいひのぬ

味味とくくろ目と損すとこれみりありとい也

糝の性は悦して云く腸と通一胃とひくく氣と下

肌解と云く潤すとこれと以てあるべきのそ

次致氣味苦く其一寒とより毒を別傷を頭痛

長生下

小兒と人と補ふ誦虚勞と治し揚胃とありらるる凡
 氣と行血脈と通し頭上乃浮腫とあり乳園と開くと乳
 母に少くを授けしむば子あがり病と生ぜぬ又生むるに
 小兒の頭上乃法の瘡に付てり開按は今此醫師
 病人よ薬と手治と此は必胡麻の油食しありあらず
 何は神とこころと知と或ひと云く此の氣補福はあ
 くと薬力とこほくとこの方中に胡麻拵毒ありあり
 呼吸とくくふのゆとひあり

豆腐 氣味其く鹹を毒あり

原中とんじ氣とほ

押胃と和し長漏と消し大腸の濁氣と治し開按は豆
 腐とつる法時珍乃説とことと目々に注ぐことと
 異あり目々の造法は唯此の汁と此のとりと入る
 ことあり山礬葉石膏等の物とつるを故は氣味其く
 淡し多し性ふく平和あり多食て人は妨あり
 豆腐皮 氣味其く平毒あり豆腐よりと勝るる病に
 葛粉 氣味其く平毒あり蘇渴と名め大小便と利し
 酒毒と解し煩熱とく丹石の毒と厭小兒の嬰瘡と
 つる多し開按は性平餅とありてくふてさゆけり

蕨根粉 南按は痲病小らまればは然を腎腎虚冷乃
るのいふ病一かたは多分食うべし

沙糖 乳味甘く多々毒は 唐心腹痲脹口の乾く温
と治し 明心掃と潤大小腸乃痲酒毒と解く多分食
ば長虫と生一歯と損一虫牙と子に

氷糖 乳味の油く多々毒は 唐全治沙糖の同月と明
一棗の肉巨勝の粉と合せく丸一服多きは肺氣成
潤一五痰と助嗽と活一痰ととり酒毒とけ一中と
安一肝氣と助一んとゆるくは紫沙糖前のまらぬ

糖米糖 よたくらぶれがわいも久く食うべ

飴糖 牙痛甚く大温毒は 別虚乏と物い渴と止血と

ころ 思虚冷と補ひ氣力と向一腸鳴咽乃いりこころ

つじよ 血のゆららるまをりと活と痰と消一肺と潤一

嗽と 洗脾胃と健一中と物い打損瘀血の類と活と

時凡そ中満吐逆ひ久ら虫くひと眼赤いこころ痲病の有に

せのよ 忌あらんが腎とやうらうらひこころ菌とらる

食鹽 辛味多しゆく多々毒は 唐心腹痲脹口の乾く温

の痰と吐一心腹卒にいこむと心虫毒とある一皮膚の

饅頭 辛味其く温毒は物中と補ひ氣成ゆ一脾胃と
 由一臟腑と和す燒てくくハ熱積と消し張滿不食
 乃人小兒の母症よりあつた心
 羊羹 氣味其く冷心肺と潤中と和す痰と解一揚
 と利之後病よむ
 求肥 氣味其く平虚と補ひ中と潤し心の養ひ氣
 とゆ一後病よむ月也
 外郎饅 氣味其く平氣と補ひ中と實ひのた物け
 依病よむ一胃也小兒に心

饅餅 氣味其く温大熱を外部饅と同病人に
 一多く一ハ風寒はく心
 餅饅 氣味其く平脾胃とんをけ氣成より大腸と
 實之依病よむ月
 鶴饅 氣味其く温中と調へ氣力と益後病よむ心
 白雪饅 氣味其く平虚勞と補ひ火成く心脾胃
 とや一あふ後病にいゆん
 菓饅 氣味其く平中とくハ人温とゆり泄痢とやめ
 病人よむ一妨げあり

落鷹 氣味わゆる温脾胃と養心泄痢とわめ氣液
ゆは病よ月ひくくはげなり

輪餅 氣味其く温氣と養脾胃と吐く病にひし

煎餅 氣味其く温氣液より小便と縮病よ忌多

らんは口温とほは瘡と生に

卷煎餅 氣味中と利一氣液より病よの心

松緑 氣味肺と潤一中と利と

藤子 氣味わゆる平氣液より中と利と病よ宜

與米 氣味其く温中と和氣と多温とわめ病よ小兒よ忌

水辛 氣味其く平氣液下し目と明はし食

と潤一病よの病

沙糖櫃 氣味其く平中と潤一食と消一陽事と起

沙糖豆 氣味わゆる平中と潤一食と下大小便と利と

阿餅糖 氣味其く平心肺と潤一渴とわめ病よの

脹滿牙 齒濕瘡よ小兒よの病

昆餅糖 氣味其く平心肺と潤一食と下大小便と利と

蜜漬 沙糖漬氣味其く平氣種ありと難及病

宜と此の其一二と記し餘の類例も依り知へ
天明冬、氣味苦く其く冷脈と潤し火と下陰瘕と消し
虚之と猶ふ

佛手 氣味平氣液下かいそうと活也

橘 氣味あましく温胃とひくさ猶と利し渴と也

橙 氣味其く冷腸胃の悪氣液より潤毒と解也

姜 氣味辛く其く温風氣液より咳痰とやめ食と下欠

野菜干物類

干大根 氣味あましく平脾胃とやうさひ中と潤ふ

干蕪 氣味其く温しと猶ハ氣液其の脾胃と和也

干薑 氣味其く其く温しと猶ハ氣液其の脾胃と和也

化病類

藜蘆 氣味其く平氣液下し滯血と破る病よいか

干瓢 氣味わゆる平肺と潤し中と和し脾胃と和也

病人小兒よいか

干此 氣味其く平中と利し氣と下し病よいか

干苔 氣味わゆる平温氣とらるる猶熱と冷し瘕と

化と病よいか

干松茸 氣味甘く平温もあく攪り多し人ば泄
痢し病人小兒よいじ

干推茸 氣味の温く温あつ平氣とぬこい出と生じ痰病忌
干飯 氣味甘く平氣味ゆいわりと和と病人よいむ多
く人ばいんく下に

寒曝糯米 氣味あゆく平中とあつし氣とあし脾胃
と平あし痰病小兒よ平温なり

鮑魚類

干鯛 氣味甘く平中と和し氣力とゆに痰病よい

干小兒よむしゆ一

干鯛 氣味平中と和し温と和し氣力とゆに痰病

小兒よむしゆ宜し

干鯛 氣味平温と生乾と同一

干鯨 氣味平温と生乾と同一

干鯨 氣味平温と生乾と同一

干鯛 氣味平温と生乾と同一

干鯛 氣味平温と生乾と同一

干鯛 氣味平温と生乾と同一

干鯛 氣味平温と生乾と同一

と漬し其燥とわひとと成りて柔にして少食べし
 又みくぬとあまき又痔漏より火心ひたるとあまらる
 瘡毒より年と経ると再発して新酒とこれと同じ
 干鱸残氣味を治る生に同じ依病よいまん
 鱸 氣味あましく温氣痰ゆし胸と利し中と和し依病よ
 いせ
 加豆乃古き味を治る鱸と同じ甫按は依病よいまん
 毒りる鱸魚の子よひとらうまきん
 鰾 氣味甘く酸く平毒は甫按は産後産前期中満

下血うれろ等は流疾と治る婦人好て常にふて宜
 ▲脾胃虚するもの多しぬるん消化しかき政あり
 干鮓 氣味平甚なり依病よいまん
 烏流魚 氣味甘く平中と和し胃と養ひ氣力を養
 依病よいまん
 熬海鼠 氣味平甚なり依病よいまん
 これと食ふ按は産後脾胃血弱なるものよ養ふとせざるを
 用ひ何れハ必し腹痛泄瀉して遂に死にけりは相うん
 ぼよるあんにしてあふるとある也

串鱈 氣味其く辛くもく寒く其毒をば治病よいかん精を養ふ
身とわかくし目とわきうらふに養ふ

尉大斗 氣味其く治串鱈よ同し

加豆平節 氣味わきうらふ毒をば中とくの人氣力をま
え胃とやうな治病よいませ

唐墨 氣味其く其く温氣とくば食とすく酒の
酔とくゆん治病よいじが用也へ

鱈魚類

鹽鱈 氣味其く辛くもく寒く其毒をば治病よいかん精を養ふ
身とわかくし目とわきうらふに養ふ

かべ

鹽鱈 氣味鹹其温中と温腸胃と利と治病よいかん精を養ふ
身とわかくし目とわきうらふに養ふ

鹽魴 氣味其く冷損益の 治病よいじ

鹽鯉 氣味其く温治病小兒よいじ

鹽鱖 氣味其く冷とんをさの 治病よいじ

鹽鱒 氣味其く鹹く冷性あり 治病小兒よいじ

鹽鱣 氣味其く辛くもく寒く其毒をば治病よいかん精を養ふ
身とわかくし目とわきうらふに養ふ

鹽曳 氣味其く辛くもく温精氣とく 治病小兒よいじ

利と病よいじ

鹽鱈 氣味辛平 多 濕 下 利 痰 血 下 注 依 病
及 小 兒 多 用 之 忌 之

鹽鯨 氣味辛平 多 冷 損 胃 益 法 病 小 兒 難 用 之

鹽鱈 氣味辛平 多 依 病 小 兒 難 用 之

刺 鯨 氣 味 辛 平 多 用 之 宜 口 以 瘡 有 者 拘 之 入 之

の 及 瘡 ぬ 之 代 小 兒 小 心 用 之 忌 之

魚 鱈 氣 味 辛 平 多 損 有 益 法 病 小 兒 難 用 之

鹽 鱈 氣 味 辛 平 多 同 用 按 之 後 發 初 突 之 者 忌 之

實 瘡 中 滿 之 忌 之

炒 鯨 氣 味 辛 平 多 用 之 宜 口 以 瘡 有 者 拘 之 入 之

海 獺 魚 氣 味 辛 平 多 損 有 益 法 病 小 兒 難 用 之

鹽 鮑 氣 味 鹹 平 多 毒 是 精 益 服 之 明 之 多 食 之

胃 胃 虛 弱 之 忌 小 兒 難 用 之

醋 持 之 多 用 之 冷 渴 之 忌 酒 毒 之 解 之 多 用 之

之 病 人 小 兒 難 用 之

鹽 鴈 氣 味 辛 平 多 用 之 冷 毒 中 之 潤 腸 胃 之 和 之

之 病 人 小 兒 難 用 之

鹽 鴈 氣 味 辛 平 多 用 之 冷 毒 中 之 潤 腸 胃 之 和 之

いじやくらんばわいふ小児を忌む

鹽鴨 氣味も厚くもく多中と和し湯胃と利し術を治す

多らんば痒癢と生し及病小児を治す

鹽漬魚類

鮑魚 珍鮑も即ち今れ乾魚のときり 醃魚 珍醃の類

と以て漬むる魚の氣味辛く臭し温毒の類 瘰癧

血痺手足の麻りて散る女子の崩中せらやまらうと治す

と李孕婦これとらんば子にやまらひ多し

鮓鮓 こと共く平毒は 唐 鮓の傷と治に益あり 南 按

ひちよ自家小修りの良市にうらうらの徳美の毒湯と成

ぶゆんとと恐ゆふらうぬしやふらふらふらうと云

あうとの氣味も活し著しうらうらう鮓鮓の類らんば

備よのへに故よあふに其品と一類のゆりたすその醜取

るはさきと云れ

魚脂 氣味甘く温毒あり 珍魚の脂と燈にせり向背と損

鱠鮓類

魚鱠 氣味の厚く温毒は 器温め物ふ冷氣濕痺と治り

膀胱の水と治す 氣塊疝氣喉中乃氣じすやき心下乃

酸水と活し胃口と開大小腸と利し按脚と補ハ陽事と
起し思御氣風等及ひ上氣せんといと活し陳夜食いと
うき消せばら積りなる冷水と飲し器のまじ出とせし時行と
酒の後よりくハ胃ハ弱し一按ずるに九真鱈の類今
蓋し多しぬぐしに

魚鮓 氣味甘く酸す毒あり開按ずるハ皮膚の力と
起し脾胃いのまじはりの忌押熱寒疾乃のいを感
多しな瘡 発し九歌ハそん多し毒あり

菌類

香蕈 氣味甘く平毒あり異氣と毒能く凡と活し血脈
やう九菌なのうらに香と活し毒なく食ふ一細目に
のすうふと毒のうらひ甚と多し今ハこれとさうく
食すやれと香蕈ととりと病者とり食すと謹し

小鳥類

小鳥 按ずるは徳の小鳥大抵氣味同しとあらぬと
いふは然とも病後にも食うて宜しと

金銀鍍燕脂類

金氣味辛くは毒あり珣生るる者ハ毒あり熱す

その毒は精神とろの骨髓とくく五差の邪氣との
とろ小児の熱毒と活とえん風熱上氣といき傷を
損吐血骨蒸勞極と活と
報 毒味くくま毒有り大毒毒とまくと安じ
心印とくく熱毒とや邪氣減除く不 服すれば
身とくく小児の癩疾とくく活と目失明
吹 風熱とくく
鏡 毒とくく毒は心と鎮の目とくく人の大
るは狼麩とくく向きくくに振するの毒固くく入に依

乃毒瘰癧中へくくと解とくくゆけに類に洗と愈の時
氣は毒と生し拘中ハ獲するにのじ
燕脂 氣味甘く平毒は小児の耳にのけよひとくく
ゆけ血気生ト痘毒と解と
百州霜 とくく辛く温毒は積滯と活婦人乃崩中帯
下産前産後乃依病口舌のと一刃の依瘡と活一依乃
墨 氣味辛く温毒は切らんと合せらんとくめ肌肉と生
に瘡後の血暈崩中卒に下血するに醋とくく

身の内臓の血脈眼目の心目の中へおのへる乳汁
としてすこすこして腫子のうへは黒む

月形食性和解大全大尾

元禄十六年癸未正月吉日



寛政二年

庚戌三月

大阪心齋橋筋北久太郎町共入

河内屋

喜兵衛

河内華書林

